

Japan Trauma Data Bank Report 2020 (2019.1-2019.12)

Japan Trauma Care and Research

**The Japanese Association for the Surgery of Trauma
(Trauma Registry Committee)**



**The Japanese Association for Acute Medicine
(Committee for Clinical Care Evaluation)**



Figure
1A

JTDB参加施設名(全288施設、順不同) 2020年3月時点

市立札幌病院	自治医科大学	東京女子医科大学	川崎市立川崎病院
日鋼記念病院	栃木県済生会宇都宮病院	青梅市立総合病院	済生会横浜市南部病院
札幌医科大学附属病院	群馬大学医学部附属病院	日本大学医学部附属板橋病院	山梨県立中央病院
手稲溪仁会病院	前橋赤十字病院	東京医科歯科大学医学部附属病院	佐久総合病院佐久医療センター
北海道大学病院	(独)国立病院機構 高崎総合医療センター	東京都立墨東病院	信州大学医学部附属病院
北斗病院	SUBARU健康保険組合 太田記念病院	都立広尾病院	相澤病院
(独)国立病院機構 北海道医療センター	さいたま赤十字病院	東京医科大学	諏訪赤十字病院
旭川赤十字病院	川口市立医療センター	東京医科大学八王子医療センター	飯田市立病院
札幌徳洲会病院	獨協医科大学越谷病院	慶應大学病院	伊那中央病院
市立函館病院	防衛医科大学校病院	聖路加国際病院	長野赤十字病院
札幌東徳洲会病院	埼玉医科大学総合医療センター	東邦大学医療センター大森病院	長野市民病院
市立釧路総合病院	埼玉医科大学国際医療センター	東京大学医学部附属病院	JA岐阜厚生連中濃病院
八戸市立市民病院	久喜総合病院	公立昭和病院	岐阜大学医学部附属病院
弘前大学医学部附属病院	深谷赤十字病院	東京都済生会中央病院	高山赤十字病院
青森県立中央病院	自治医科大学附属さいたま医療センター	国立成育医療研究センター	大垣市民病院
岩手医科大学	さいたま市立病院	白鬚橋病院	下呂市立金山病院
岩手県立久慈病院	船橋市立医療センター	日本赤十字社医療センター	聖隷三方ヶ原病院
岩手県立中央病院	国保旭中央病院	東京都立多摩総合医療センター	沼津市立病院
大崎市民病院	日本医科大学千葉北総病院	国土館大学大学院	静岡赤十字病院
東北大学病院	千葉県救急医療センター	順天堂大学医学部附属練馬病院	静岡済生会総合病院
仙台市立病院	亀田総合病院	昭和大学横浜市北部病院	順天堂大学医学部附属静岡病院
石巻赤十字病院	国保直営総合病院君津中央病院	(独)国立病院機構 横浜医療センター	静岡県立総合病院
(独)国立病院機構 仙台医療センター	順天堂大学医学部附属浦安病院	聖マリアンナ医科大学	静岡徳洲会病院
みやぎ県南中核病院	千葉大学医学部附属病院	関東労災病院	掛川市・袋井市病院企業団立
秋田赤十字病院	松戸市立総合医療センター	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	中東遠総合医療センター
秋田大学医学部附属病院	東京慈恵医科大学附属柏病院	東海大学医学部付属病院	藤枝市立総合病院
山形県立中央病院	東京女子医科大学八千代医療センター	昭和大学藤が丘病院	浜松医科大学医学部附属病院
日本海総合病院	東京ベイ・浦安市川医療センター	北里大学病院	総合病院聖隷浜松病院
太田西ノ内病院	千葉労災病院	横須賀市立うわまち病院	愛知医科大学医学部附属病院
会津中央病院	東千葉メディカルセンター	横浜市立みなと赤十字病院	名古屋掖済会病院
福島県立医科大学	昭和大学病院	日本医科大学武蔵小杉病院	社会保険中央病院
新潟市民病院	(独)国立病院機構 東京医療センター	済生会横浜市東部病院	岡崎市民病院
新潟大学医学部総合病院高次救命災害治療センター	日本大学医学部社会医学講座	湘南鎌倉総合病院	豊橋市民病院
新潟県立新発田病院	(独)国立病院機構 災害医療センター	横浜市立市民病院	総合大雄会病院
魚沼基幹病院	武蔵野赤十字病院	小田原市立病院	藤田保健衛生大学
筑波メディカルセンター病院	日本医科大学多摩永山病院	横須賀共済病院	名古屋市立大学病院
茨城西南医療センター病院	帝京大学	平塚市民病院	半田市立半田病院
(独)国立病院機構 水戸医療センター	国立国際医療研究センター	藤沢市民病院	春日井市民病院
筑波大学附属病院	東京女子医科大学東医療センター	横浜労災病院	小牧市民病院
茨城県立中央病院	日本医科大学付属病院	横浜栄共済病院	(独)国立病院機構 名古屋医療センター
水戸済生会総合病院	杏林大学医学部附属病院	新百合ヶ丘総合病院	名古屋第二赤十字病院
獨協医科大学病院	駿河台日本大学病院	海老名総合病院	一宮市立市民病院

Figure
1B

JTDB参加施設名(全288施設、順不同) 2020年3月時点

三重大学医学部付属病院	兵庫県立加古川医療センター	済生会福岡総合病院
三重県立総合医療センター	兵庫県立淡路医療センター	福岡大学病院
富山県立中央病院	兵庫医科大学病院	雪ノ聖母会聖マリア病院
富山大学附属病院	神戸市立医療センター中央市民病院	久留米大学病院
厚生連 高岡病院	製鉄記念広畑病院姫路救命救急センター	飯塚病院
市立砺波総合病院	奈良県総合医療センター	健和会大手町病院
石川県立中央病院	奈良県立医科大学	北九州市立八幡病院
福井県立病院	近畿大学医学部奈良病院	九州大学病院
福井大学医学部附属病院	和歌山県立医科大学附属病院	福岡和白病院
近江八幡市立総合医療センター	日本赤十字社和歌山医療センター	福岡赤十字病院
済生会滋賀病院	鳥取大学医学部付属病院	(独)国立病院機構 福岡東医療センター
京都第二赤十字病院	鳥根大学医学部附属病院	新行橋病院
(独)国立病院機構 京都医療センター	鳥根県立中央病院	(独)国立病院機構 九州医療センター
洛和会音羽病院	岡山大学病院	佐賀県医療センター好生館
市立福知山市民病院	津山中央病院	佐賀大学医学部附属病院
京都第一赤十字病院	川崎医科大学附属病院	(独)国立病院機構 嬉野医療センター
徳洲会宇治徳洲会病院	倉敷中央病院	(独)国立病院機構 長崎医療センター
京都府立医科大学	県立広島病院	長崎大学病院
京都岡本病院	中国労災病院	荒尾市民病院
京都大学医学部附属病院	広島大学病院	熊本赤十字病院
りんくう総合医療センター	(独)国立病院機構	(独)国立病院機構 熊本医療センター
大阪府三島救命救急センター	呉医療センター中国がんセンター	済生会熊本病院
近畿大学医学部附属病院	福山市民病院	大分大学医学部附属病院
岸和田徳洲会病院	山口大学医学部附属病院	大分市医師会立アルメイダ病院
大阪大学医学部附属病院	(独)国立病院機構 関門医療センター	県立宮崎病院
大阪市立総合医療センター	徳山中央病院	宮崎大学医学部附属病院
関西医科大学附属滝井病院	山口県立総合医療センター	宮崎善仁会病院
大阪市立大学医学部附属病院	徳島県立三好病院	都城市郡医師会病院
大阪府済生会千里病院千里救命救急センター	徳島県立海部病院	大隅鹿屋病院
大阪府立急性期・総合医療センター	徳島県立中央病院	鹿児島市立病院
(独)国立病院機構 大阪医療センター	倚山会田岡病院	米盛病院
大阪府立中河内救命救急センター	徳島赤十字病院	浦添総合病院
関西医科大学附属枚方病院	香川大学医学部附属病院	中頭病院
堺市立総合医療センター	香川県立中央病院	沖縄県立中部病院
大阪警察病院	愛媛県立中央病院	沖縄県立北部病院
大阪赤十字病院	愛媛大学医学部附属病院	琉球大学医学部附属病院
神戸大学医学部附属病院	愛媛県立新居浜病院	豊見城中央病院
兵庫県災害医療センター	高知医療センター	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
公立豊岡病院但馬救命救急センター	近森病院	
公立村岡病院	高知赤十字病院	
関西労災病院	北九州総合病院	
兵庫県立西宮病院	小倉記念病院	

Figure
2

地方別JTDB参加施設数

施設数

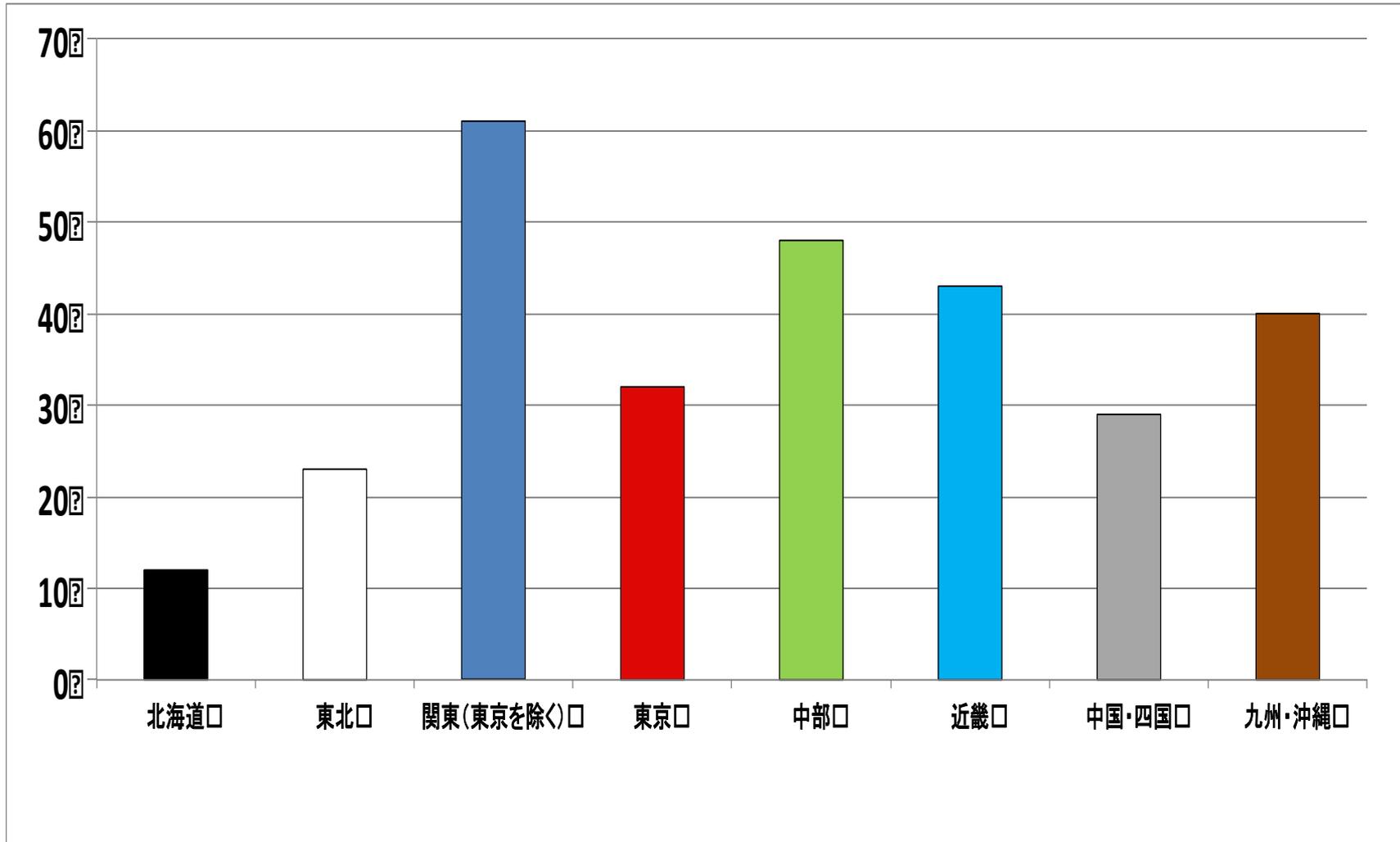


Figure
3

全症例年齢分布

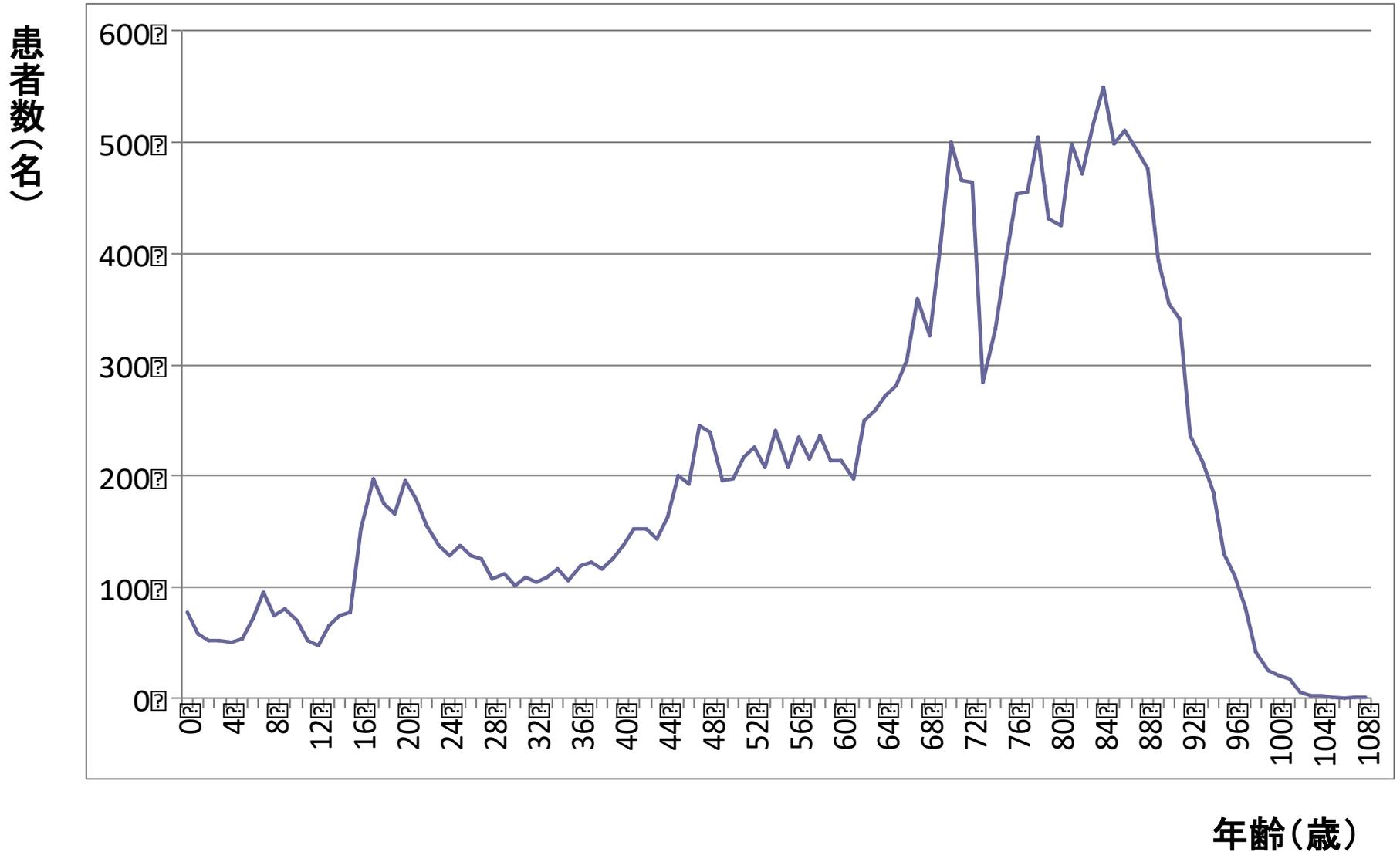
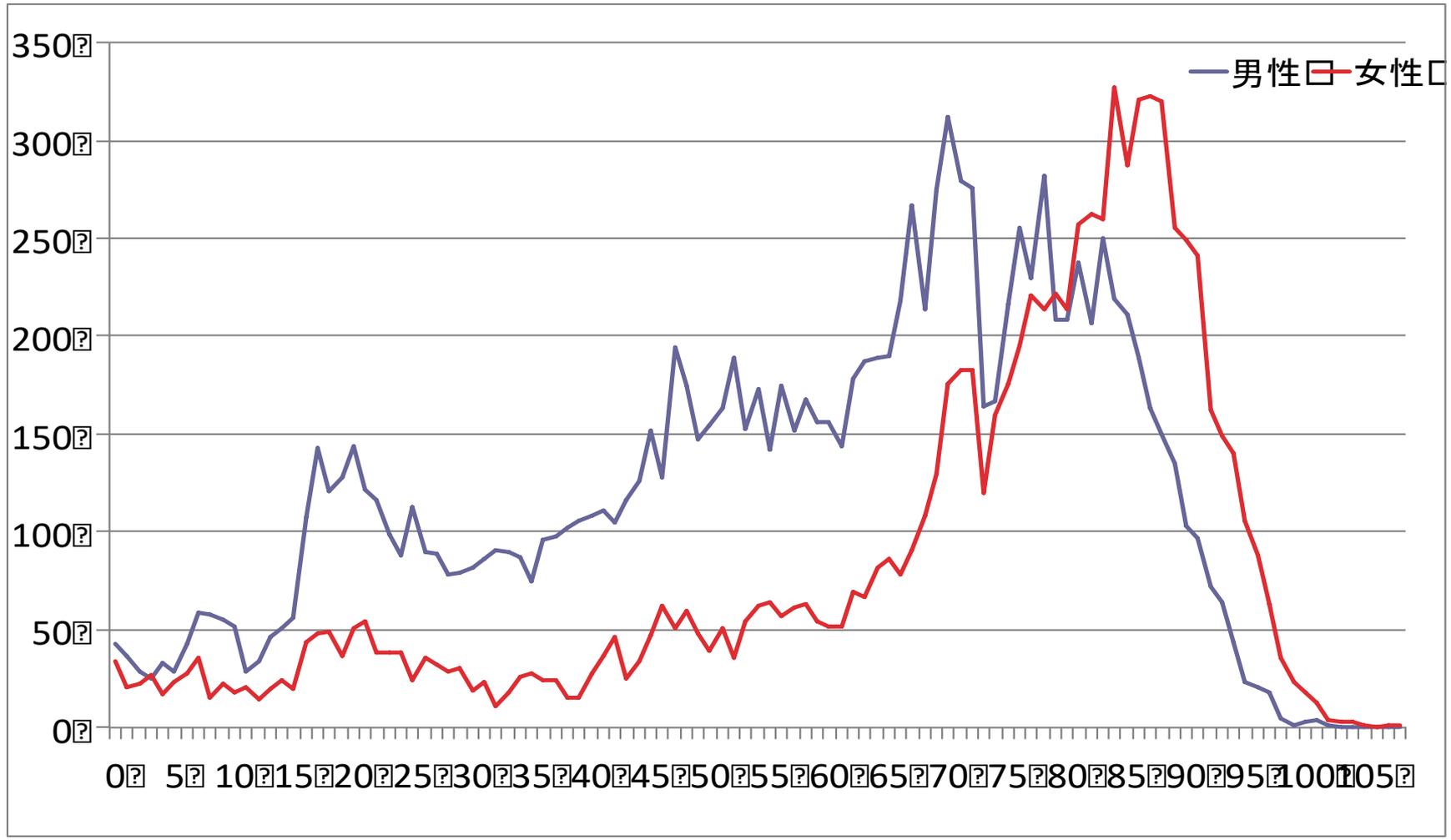


Figure 4

性別年齢分布

患者数(名)



年齢(歳)

Figure
5

受傷機転別の患者数

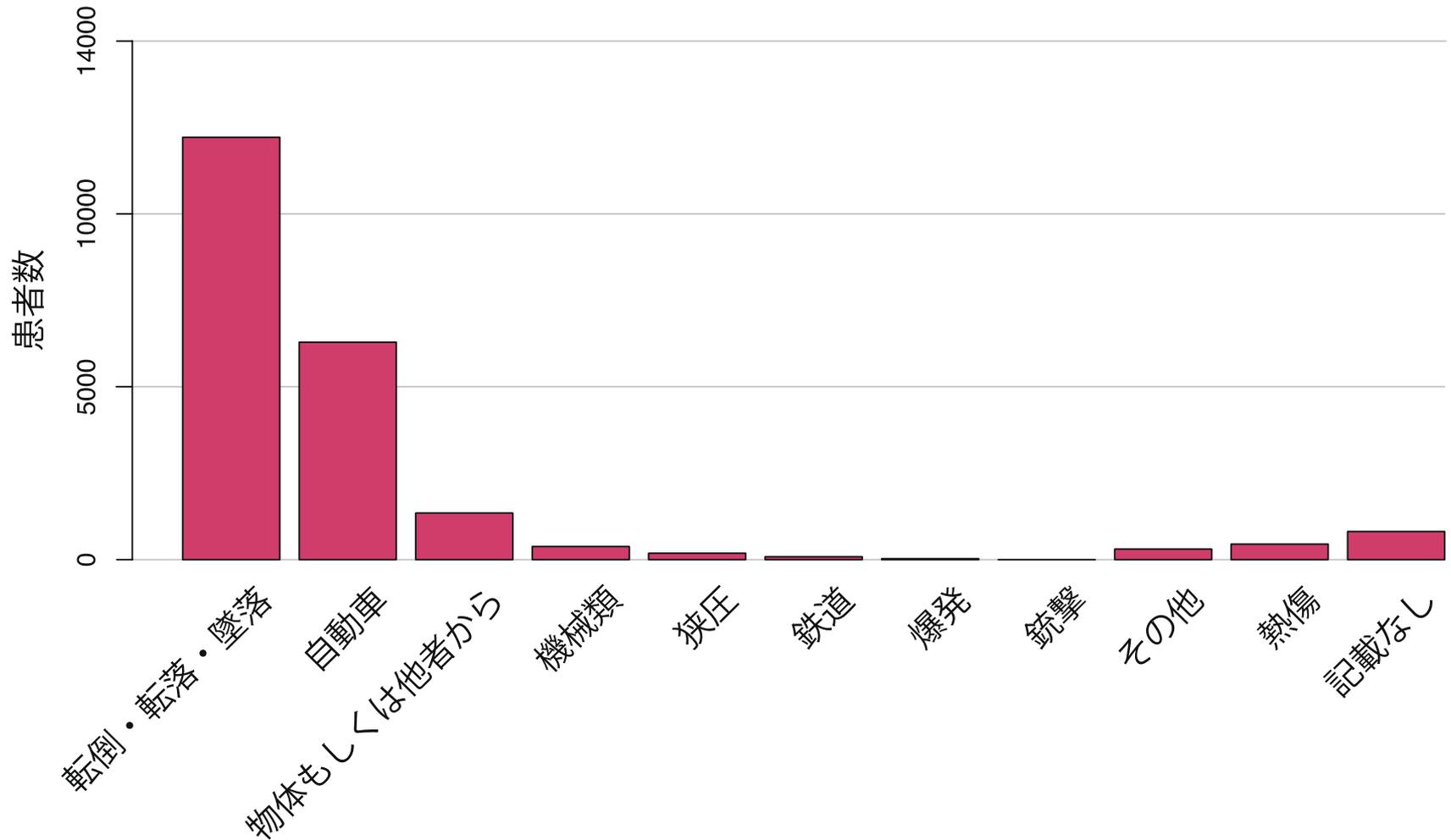


Table
5

受傷機転別の患者数の割合

受傷機転	患者数(人)	受傷機転別患者数の割合(%)
転倒・転落・墜落	12217	55.3
自動車	6289	28.5
物体もしくは他者から	1348	6.1
機械類	379	1.7
狭圧	182	0.8
鉄道	84	0.4
爆発	27	0.1
銃撃	1	0.0
その他	305	1.4
熱傷	447	2.0
記載なし	811	3.7

Figure
6

受傷機転別患者数の年齢分布

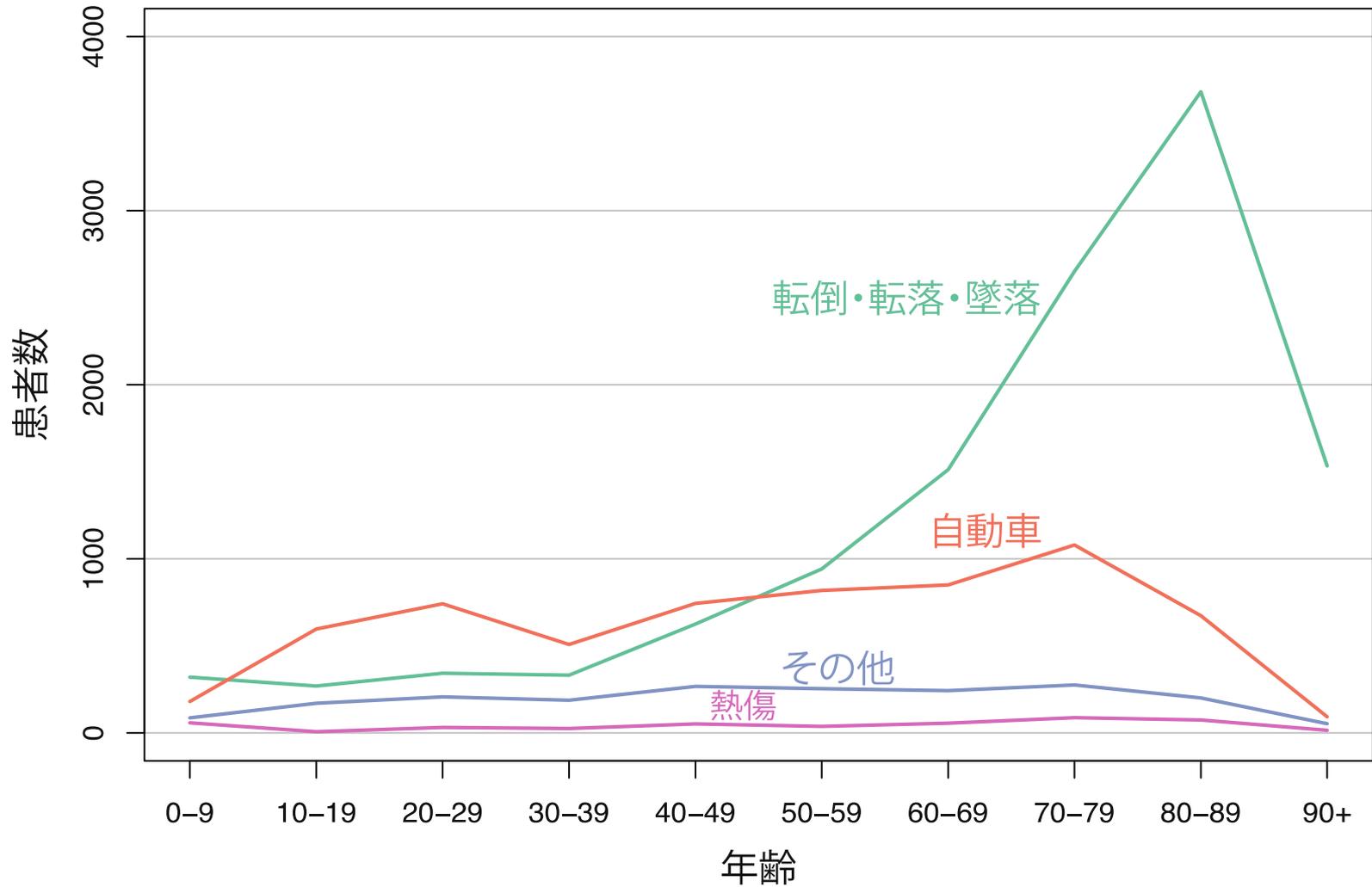


Figure
7

受傷機転別の死亡数

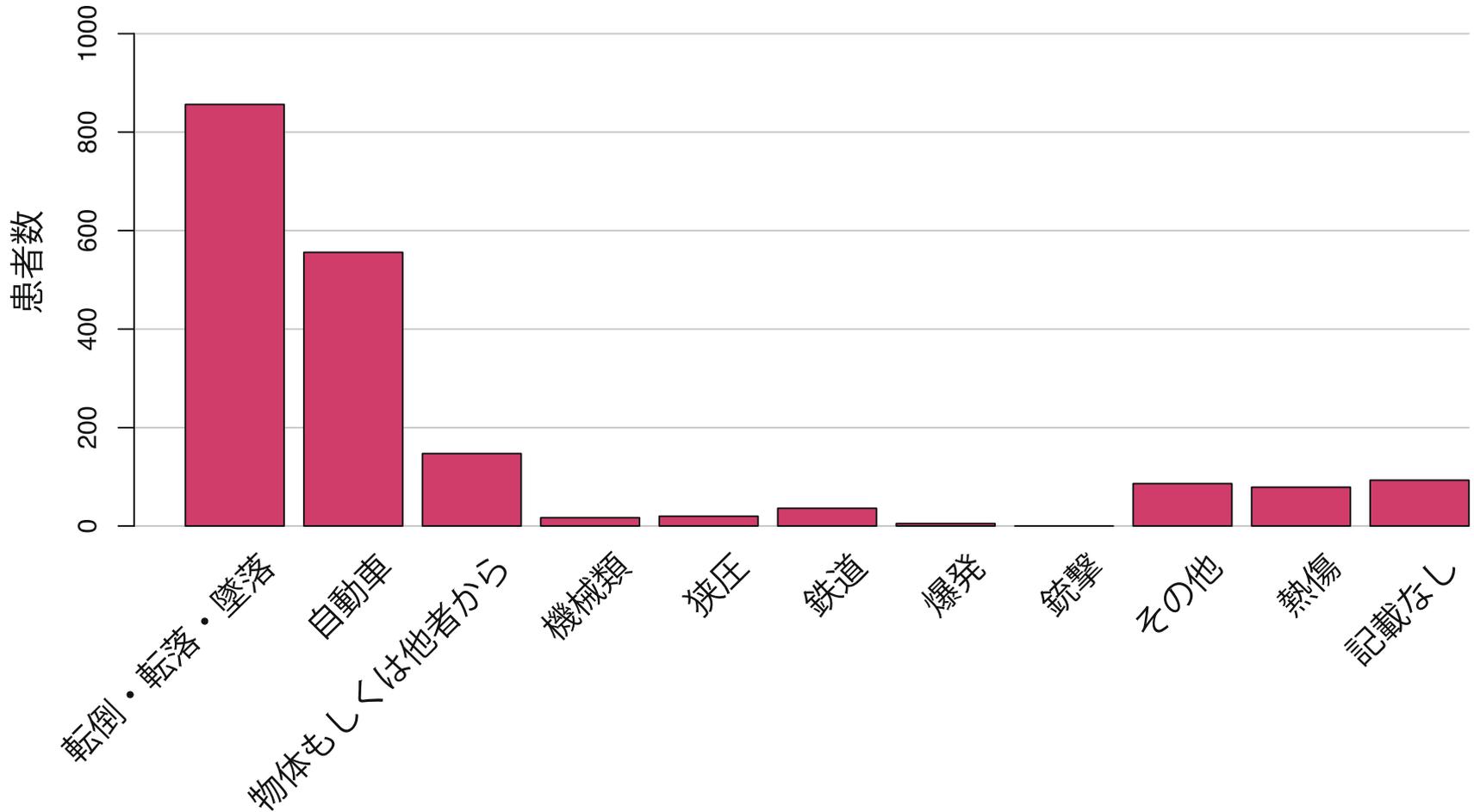


Figure
8

年齢別の患者死亡率

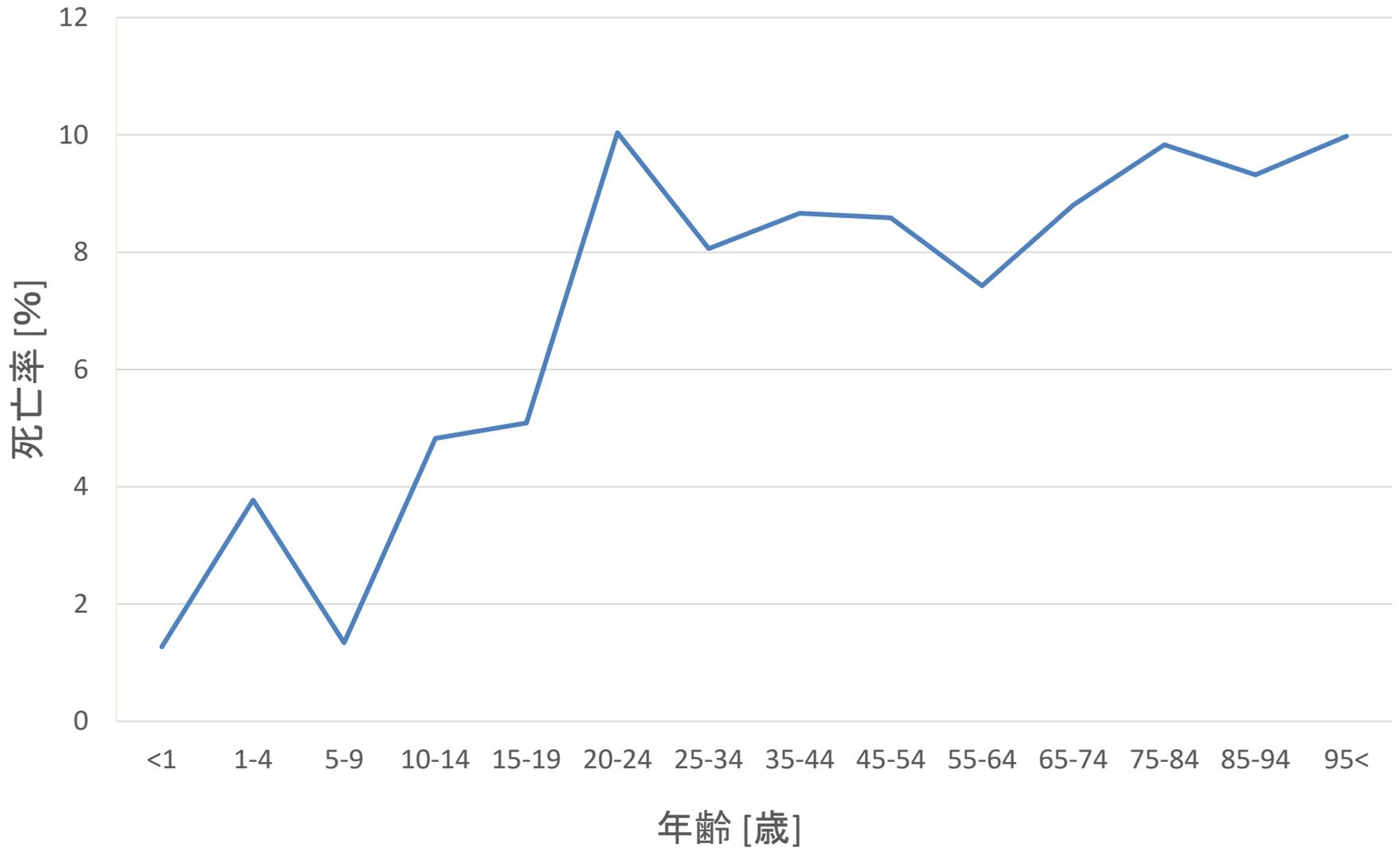


Figure
9

性別と年齢別の患者死亡率

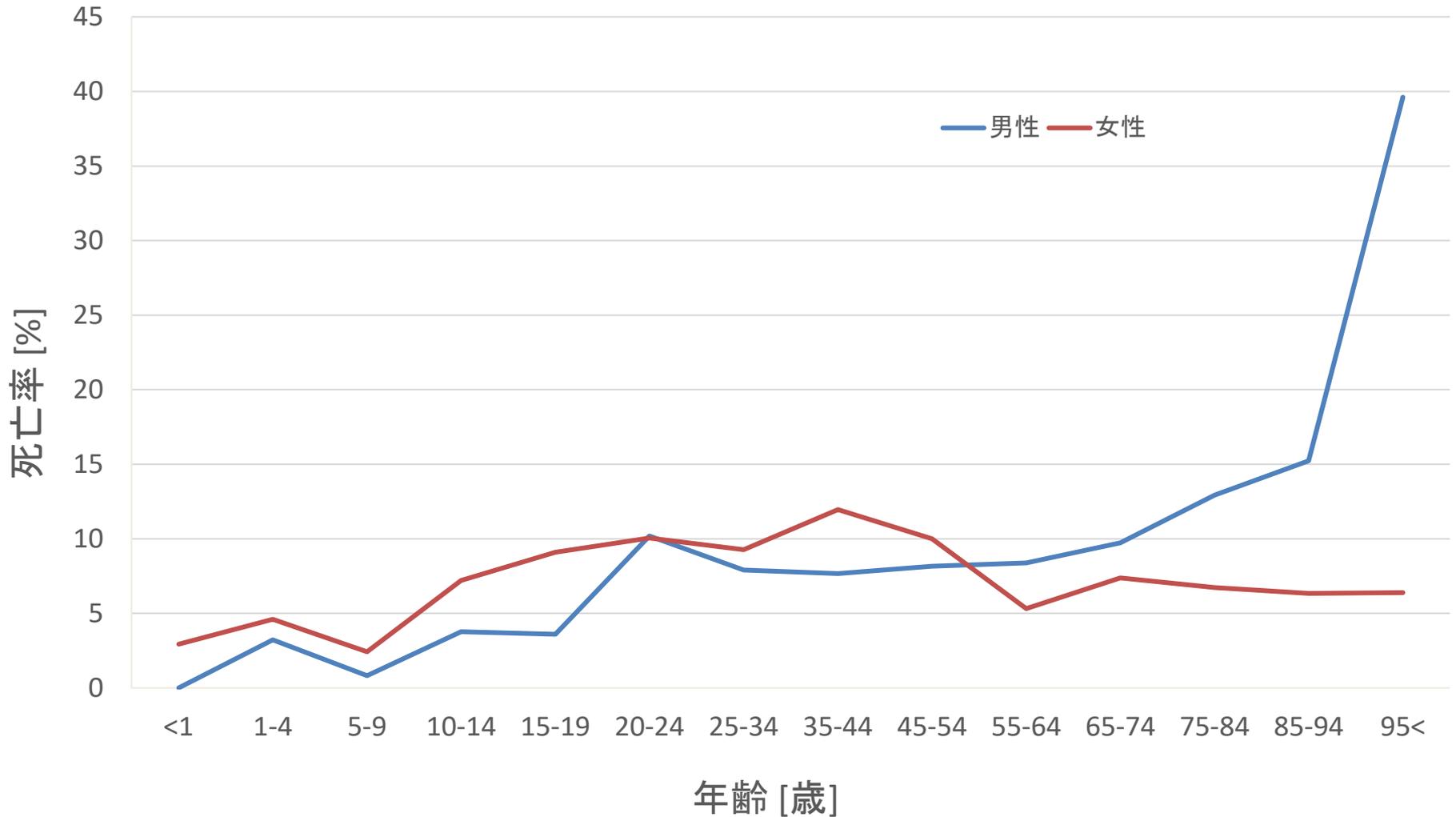


Figure
10

受傷機転と年齢別の患者死亡率

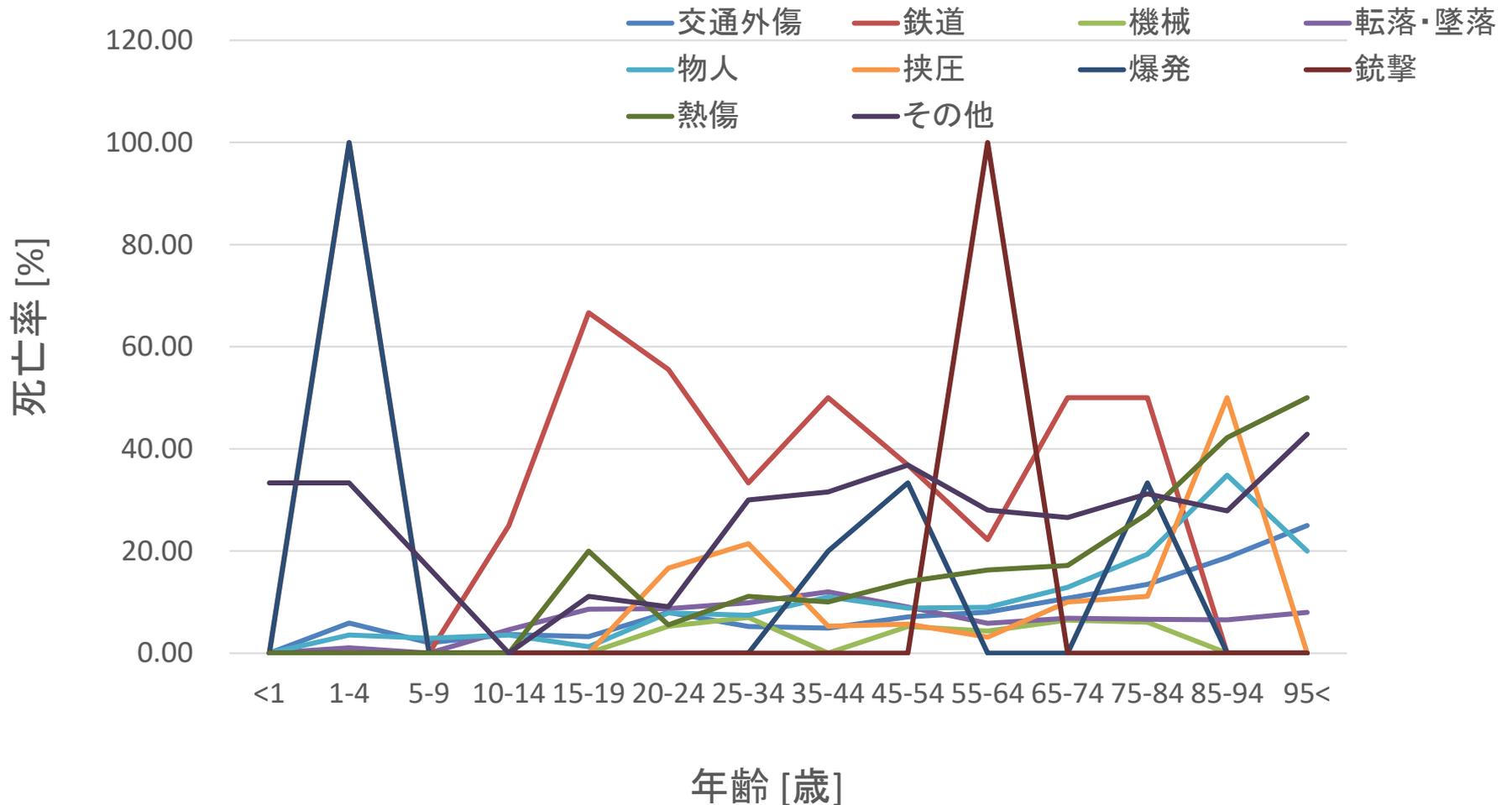
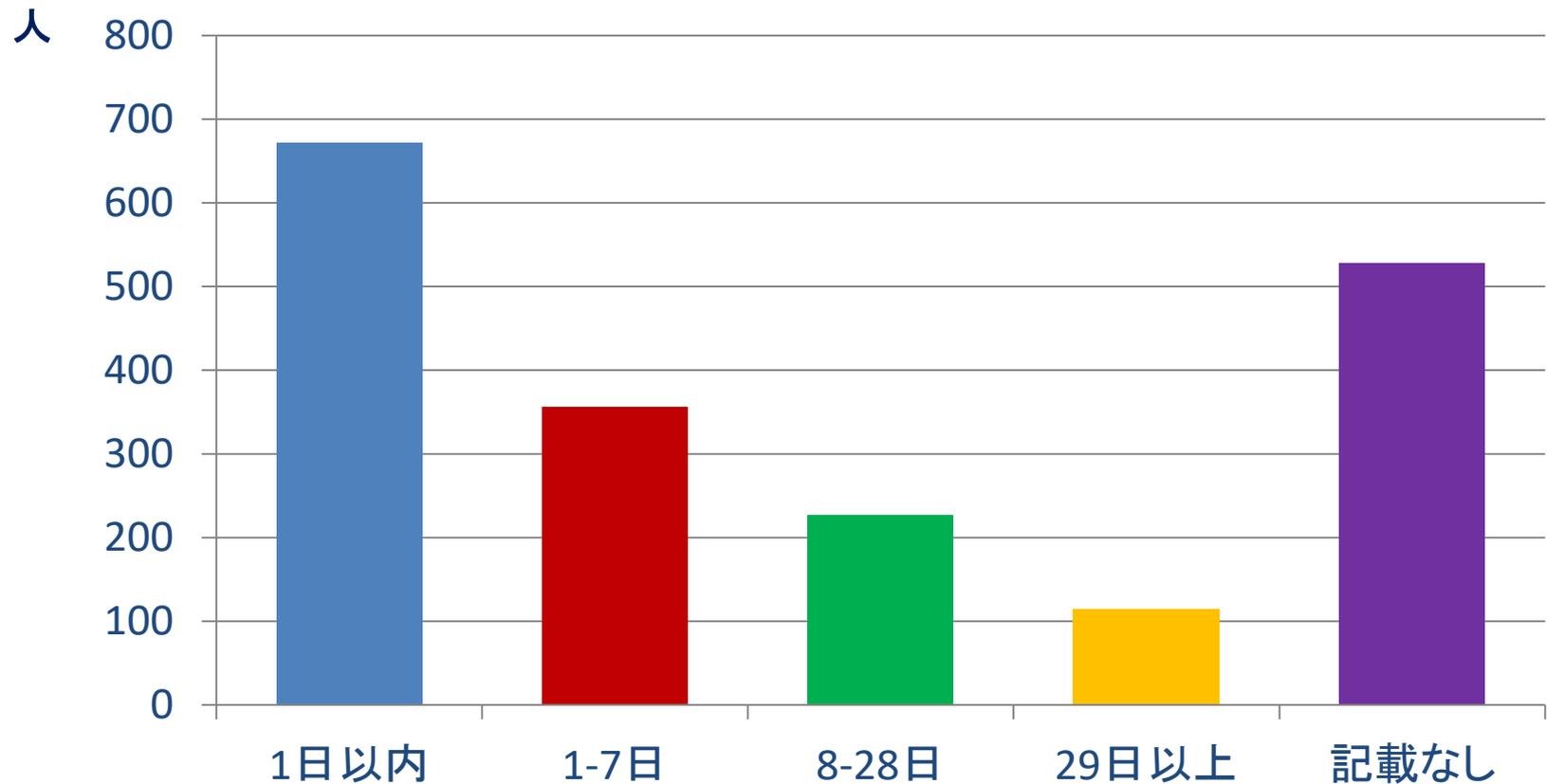


Figure
11A

死亡症例における入院日数別の症例分布 n = 1,896

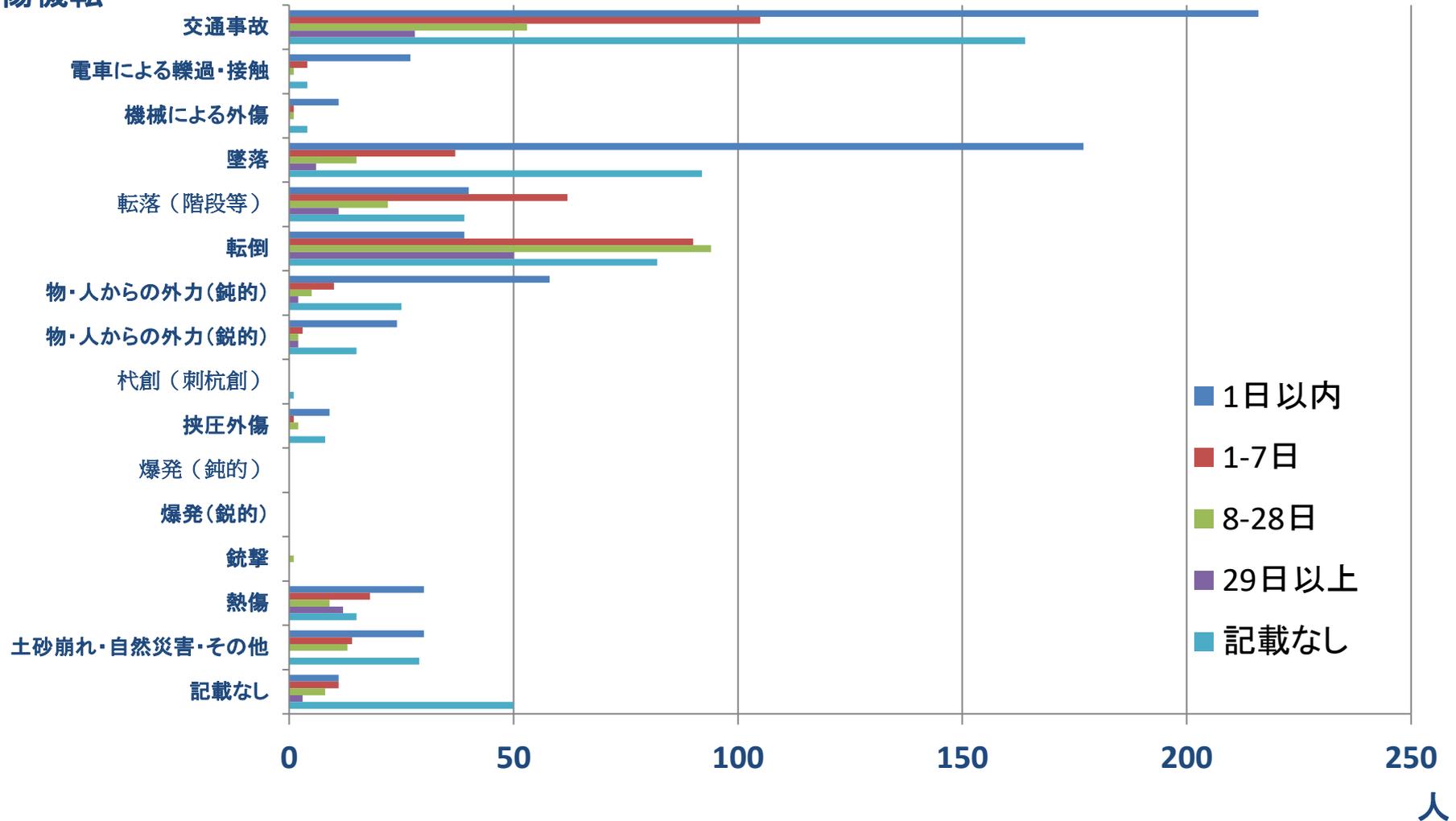


「1日以内」には、来院時心肺停止症例と初療室での死亡症例を含む。

Figure
11B

死亡症例における受傷機転別の入院日数別の症例分布 n=1,896

受傷機転



杵創は「記載なし」1人、「爆発（鈍的）」及び「爆発（鋭的）」は死亡症例が0人であった。

Table
12

受傷機転別の入院日数別の症例分布 n =21,385

	交通事故	電車に 轢過・接触 等	機械による 外傷	墜落	転落 (階段等)	転倒	物・人から の外力 (鈍的)	物・人から の外力 (鋭的)
1日以内	423	30	23	205	125	191	103	47
1～7日	1876	6	110	37	834	1476	292	180
8～28日	2194	11	146	15	485	4062	280	159
29日以上	1625	17	94	6	523	1676	102	76
記載なし	289	6	6	92	134	168	42	29
計	6407	70	379	327	1671	7573	819	491

	杵創 (刺抗創)	挟圧外傷	爆発 (鈍的)	爆発 (鋭的)	銃撃	熱傷	土砂崩れ・ 自然災害・ その他	計
1日以内	3	15	0	0	0	49	44	1258
1～7日	17	28	1	0	1	135	89	5369
8～28日	11	61	4	0	2	129	89	8870
29日以上	4	67	1	0	0	131	48	5069
記載なし	3	11	0	0	0	24	35	819
計	38	182	6	0	3	468	305	21385

Figure
13A

受傷機転別の累積入院日数 n = 20,777 **総累積入院日数** 44,139日

受傷機転

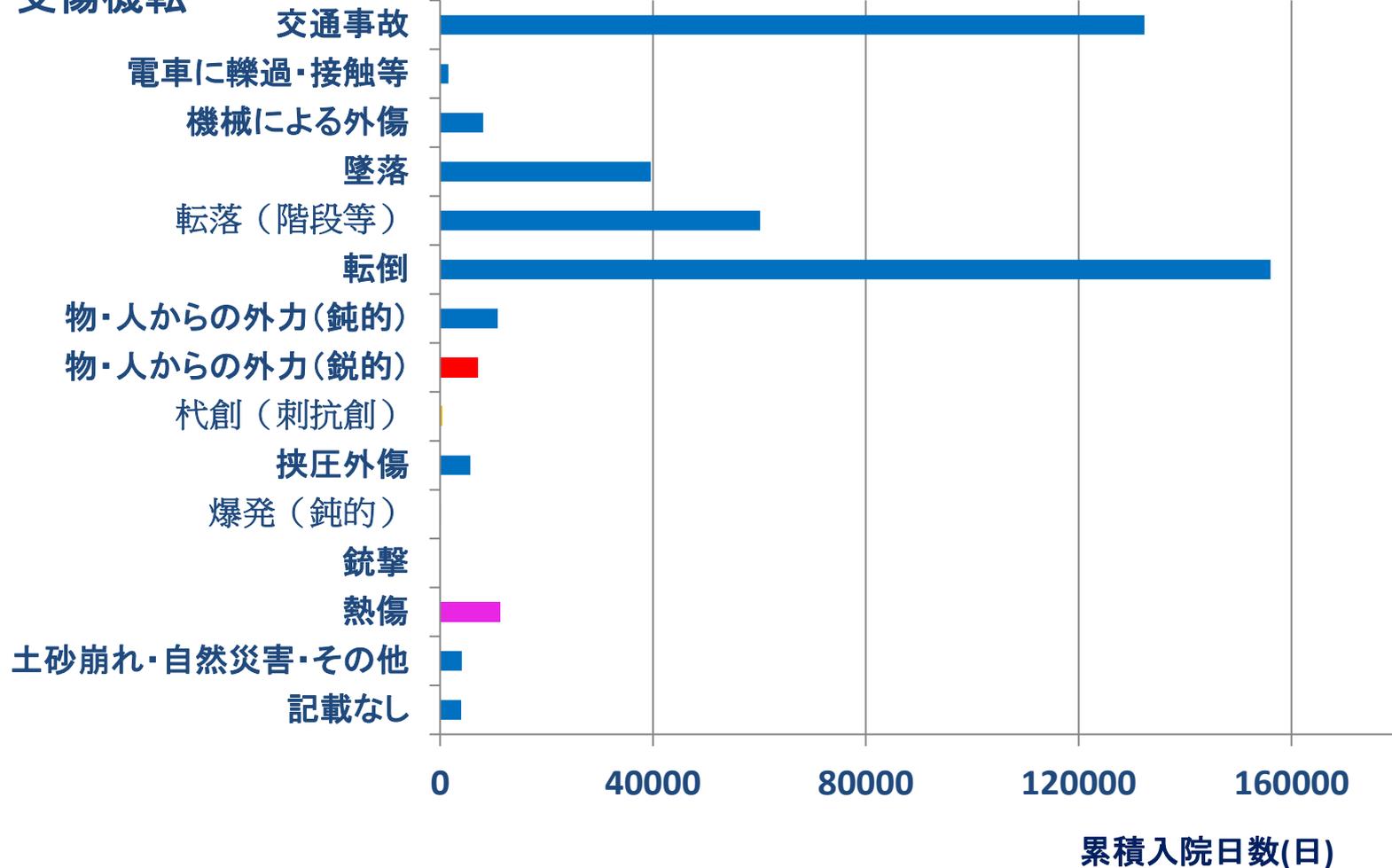
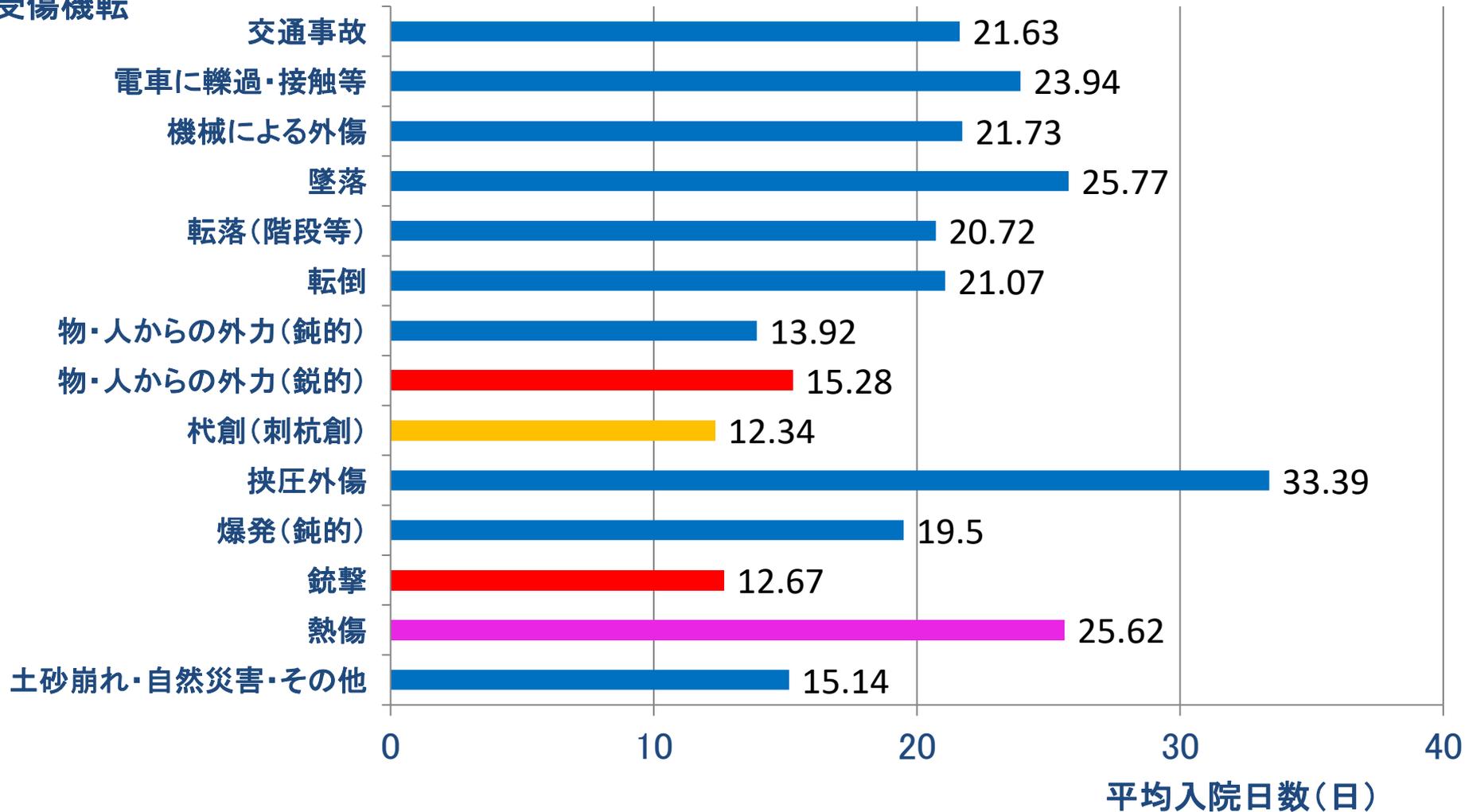


Figure
13B

受傷機転別の平均入院日数 n = 20,777

受傷機転



“1日以内の入院”を入院日数“0”としているため、平均入院日数を過小評価している可能性がある。

Table
13

受傷機転別の症例数、累積入院日数、平均入院日数 n = 20,777

受傷機転	症例数／%		累積入院日数	平均入院日数
交通事故	6,118	29.45	132,344	21.63
電車に轢過・接触等	64	0.31	1,532	23.94
機械による外傷	373	1.80	8,107	21.73
墜落	1,537	7.40	39,616	25.77
転落(階段等)	2,901	13.96	60,121	20.72
転倒	7,405	35.64	156,056	21.07
物・人からの外力(鈍的)	777	3.74	10,812	13.92
物・人からの外力(鋭的)	462	2.22	7,061	15.28
杵創(刺抗創)	35	0.17	432	12.34
挟圧外傷	171	0.82	5,709	33.39
爆発(鈍的)	6	0.03	117	19.50
爆発(鋭的)	0	0.00	0	0.00
銃撃	3	0.01	38	12.67
熱傷	444	2.14	11,377	25.62
土砂崩れ・自然災害・その他	270	1.30	4,087	15.14
記載なし	211	1.02	3,982	18.87
計	20,777	100%	4,049,382	23.81

“1日以内の入院”を入院日数“0”としているため、平均入院日数を過小評価している可能性がある。

Figure
14

ISSカテゴリー別の症例数と割合

N= 22,089

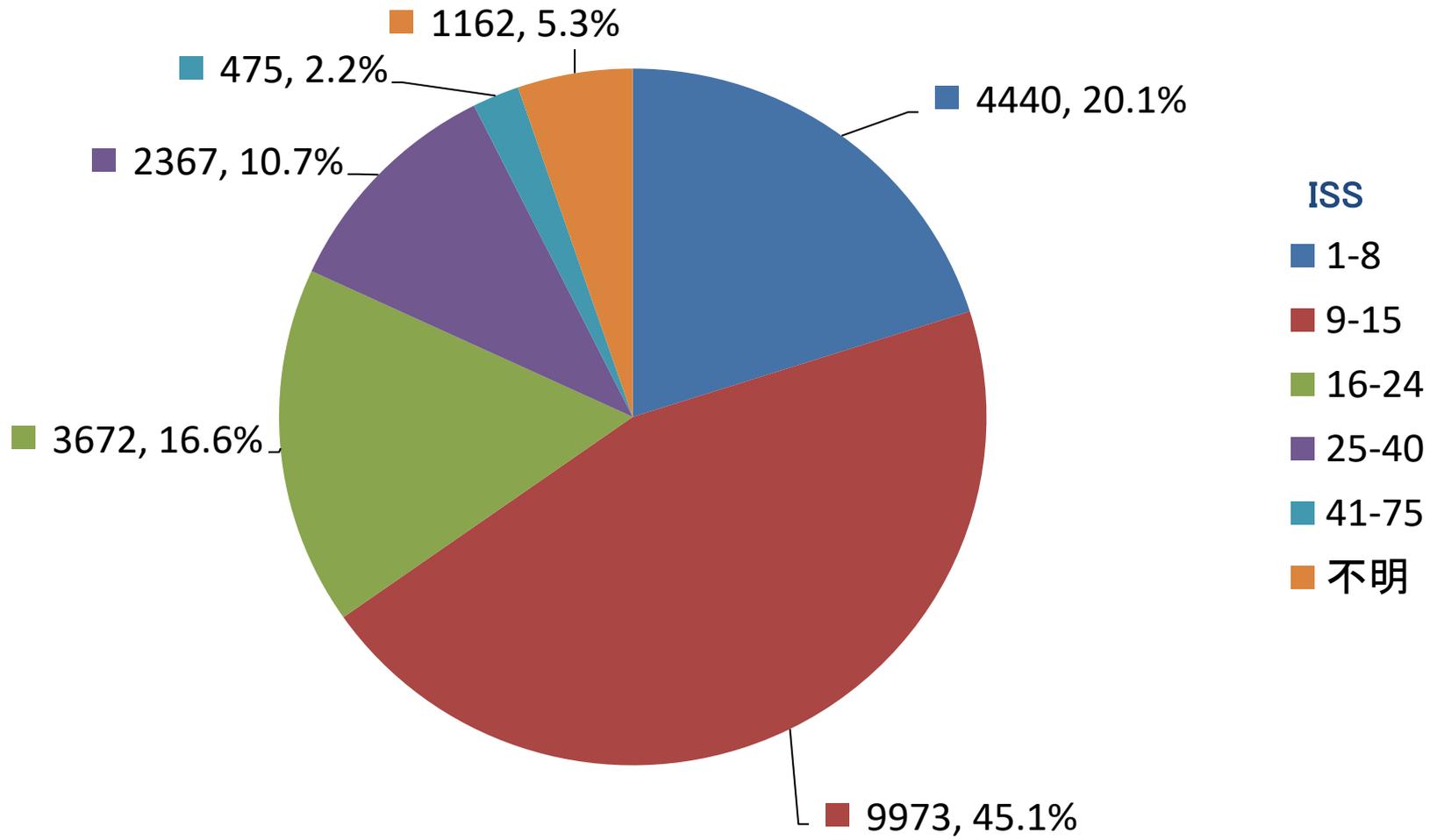


Figure
15

ISSカテゴリー別の症例数の年齢分布

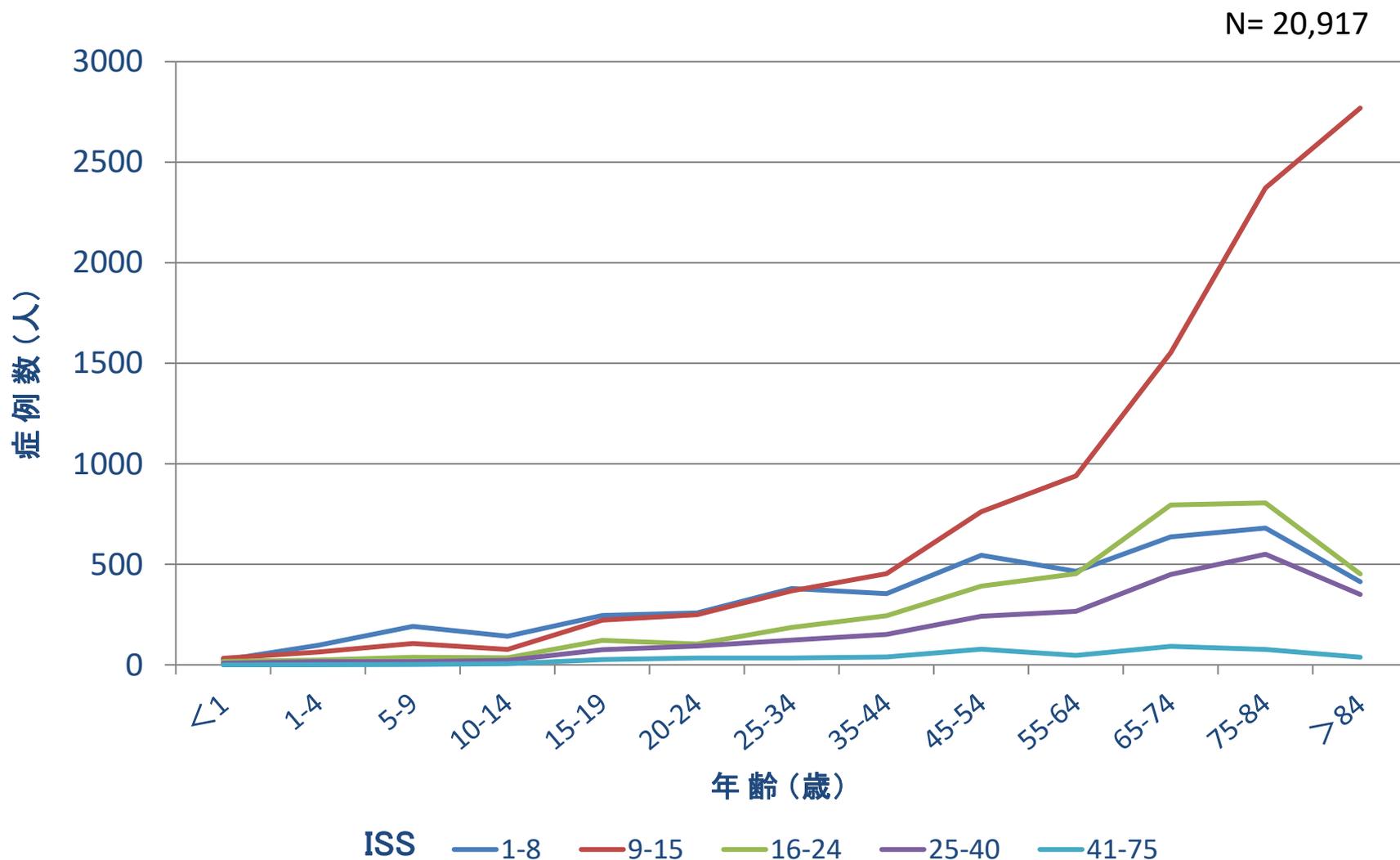


Table
15

ISSカテゴリ別の症例数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	24	98	192	143	246	259	380	354	545	465	637	681	413	3	4440
9-15	33	64	106	77	222	250	368	453	762	940	1553	2372	2769	4	9973
16-24	18	24	38	35	122	104	186	245	392	453	795	806	452	2	3672
25-40	9	16	16	22	76	94	123	151	242	267	450	550	350	1	2367
41-75	0	1	2	6	27	34	34	39	78	47	92	77	38	0	475
不明	1	9	20	28	74	56	63	97	147	131	200	213	122	1	1162
計	85	212	374	311	767	797	1154	1339	2166	2303	3727	4699	4144	11	22089

Figure
16A

ISSカテゴリー別の死亡数と割合

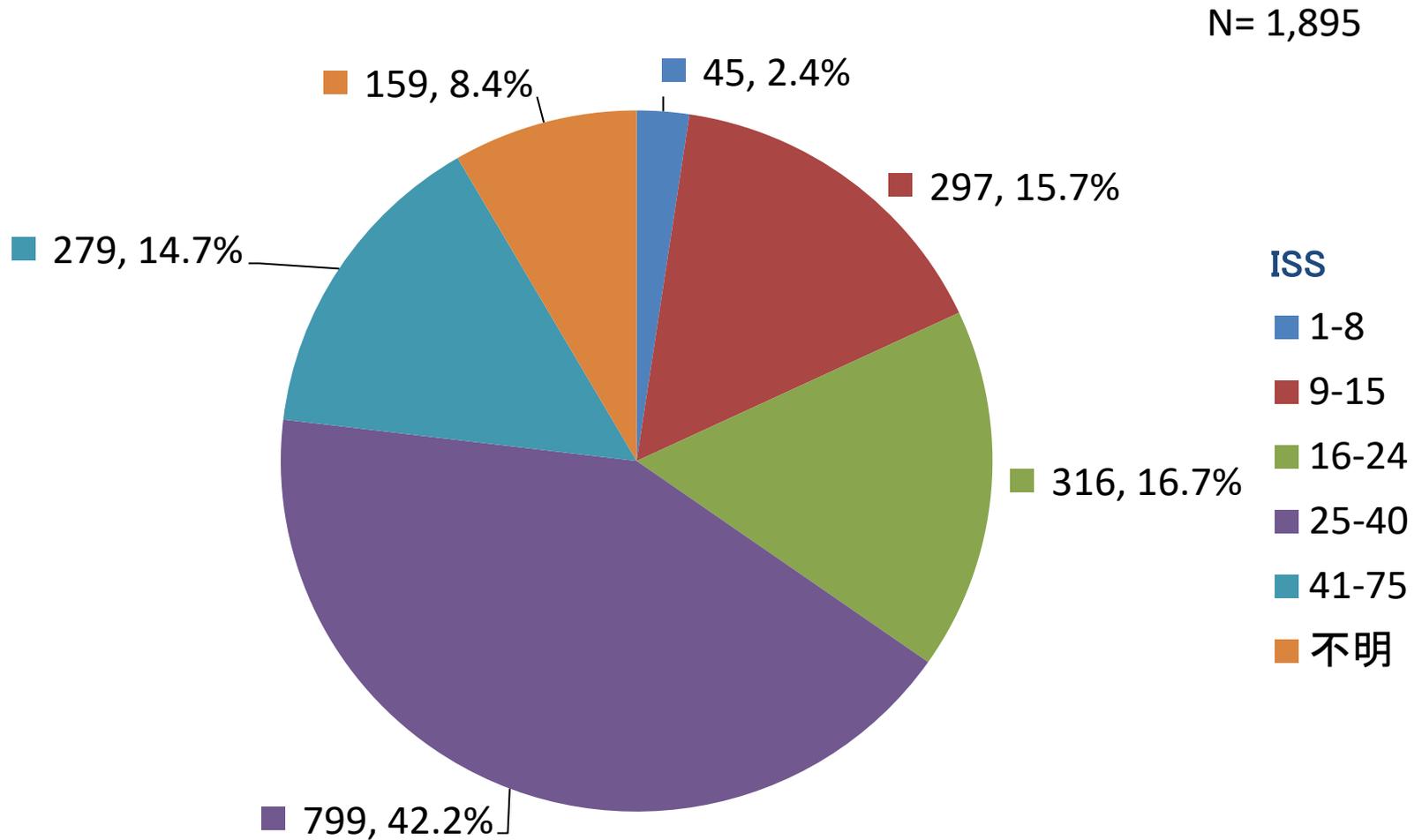


Figure
16B

ISSカテゴリー別の死亡率

N= 1,895

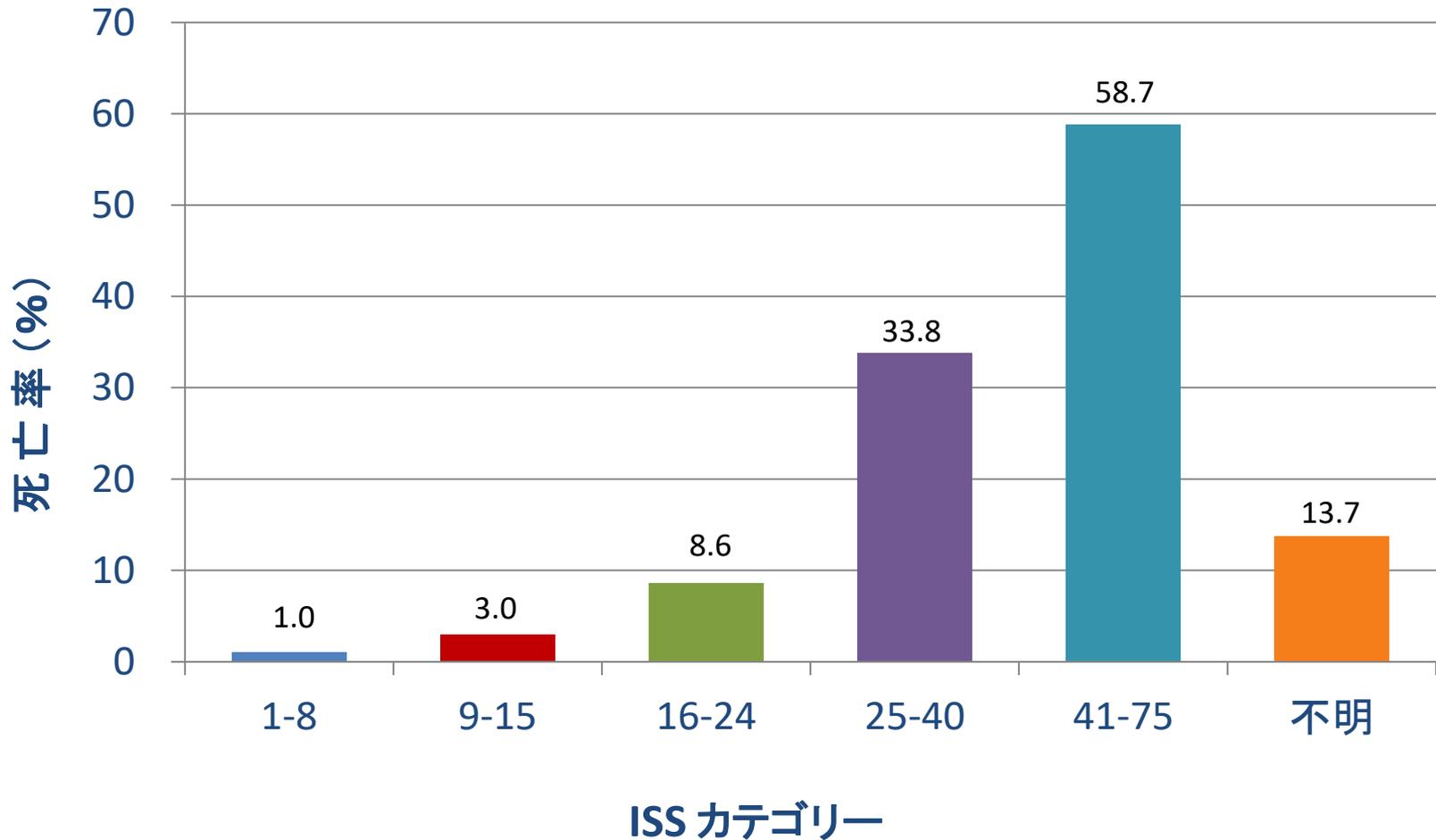


Figure
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

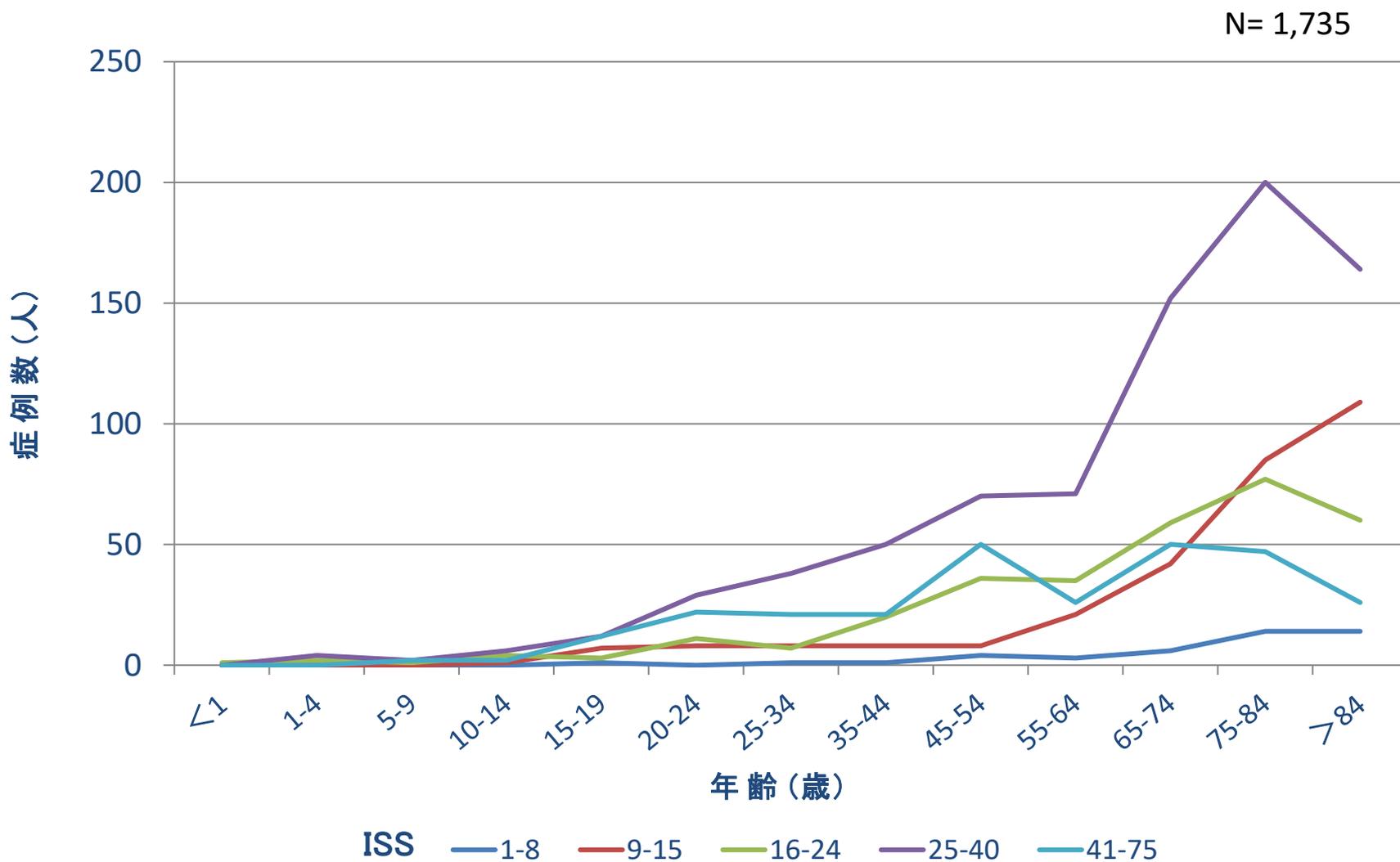


Table
17

ISSカテゴリー別死亡数の年齢分布

年齢 ISS	0	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-34	35-44	45-54	55-64	65-74	75-84	85-	不明	計
1-8	0	1	0	0	1	0	1	1	4	3	6	14	14	0	45
9-15	0	0	0	1	7	8	8	8	8	21	42	85	109	0	297
16-24	1	2	1	4	3	11	7	20	36	35	59	77	60	0	316
25-40	0	4	2	6	12	29	38	50	70	71	152	200	164	1	799
41-75	0	0	2	2	12	22	21	21	50	26	50	47	26	0	279
不明	0	1	0	2	4	10	18	16	18	15	19	39	16	1	159
計	1	8	5	15	39	80	93	116	186	171	328	462	389	2	1895

Figure
18

ISS 15以下の死亡数の性別年齢分布

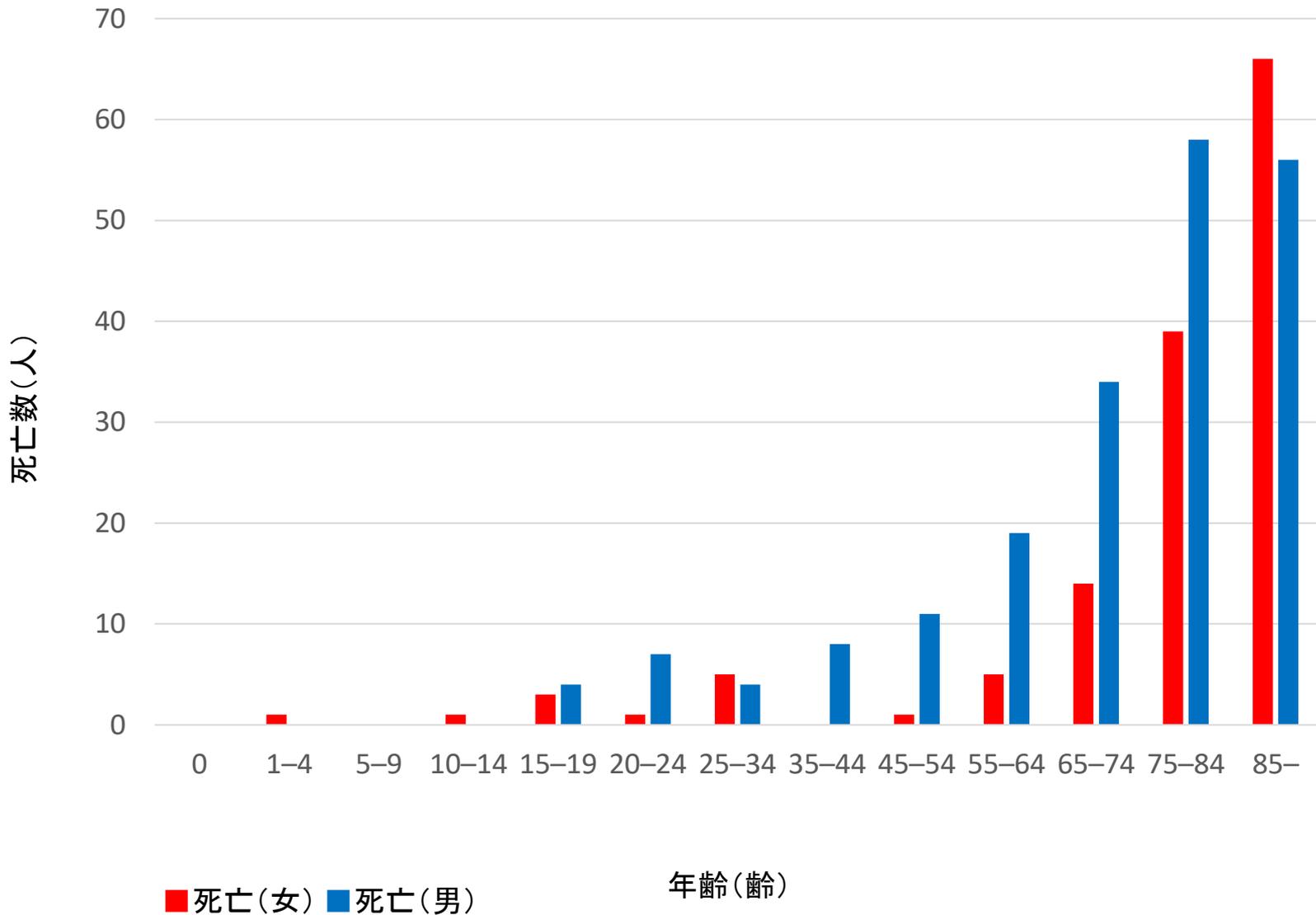


Figure
19

ISS 16以上の死亡数の性別年齢分布

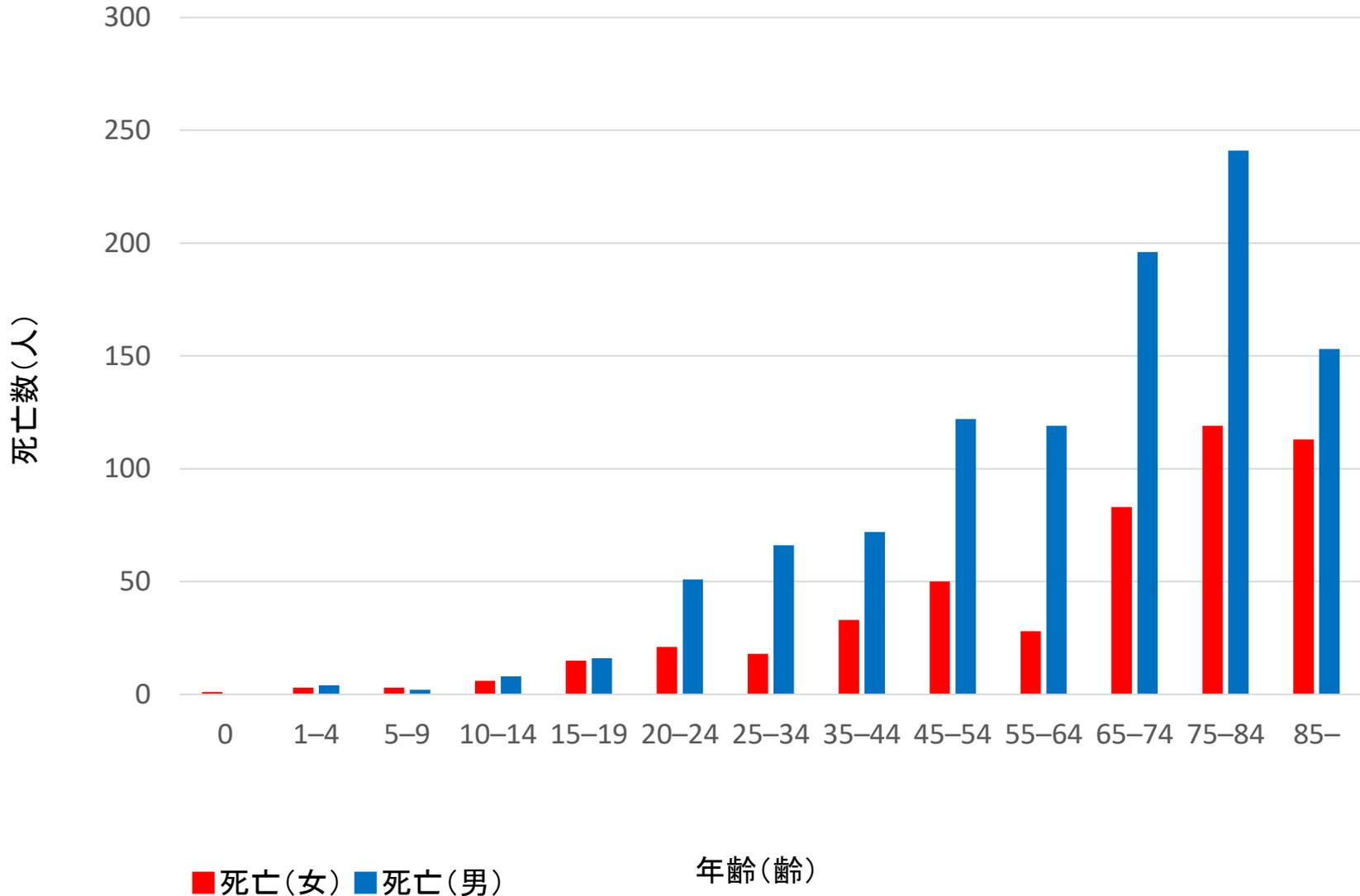


Figure
20A

ISS カテゴリー別の累積入院日数

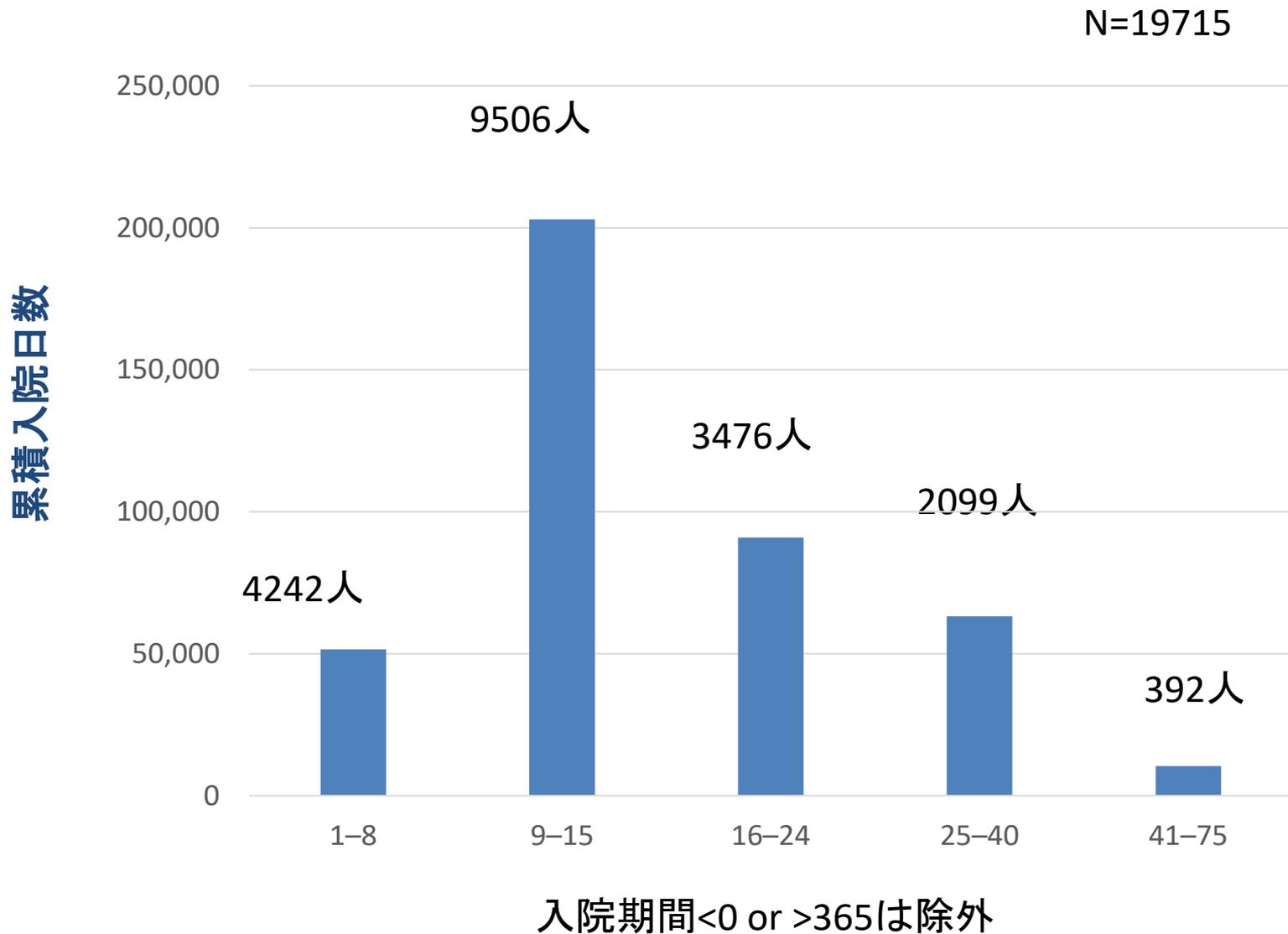


Figure
20B

ISS カテゴリ別の平均入院日数

N= 19715

平均入院日数

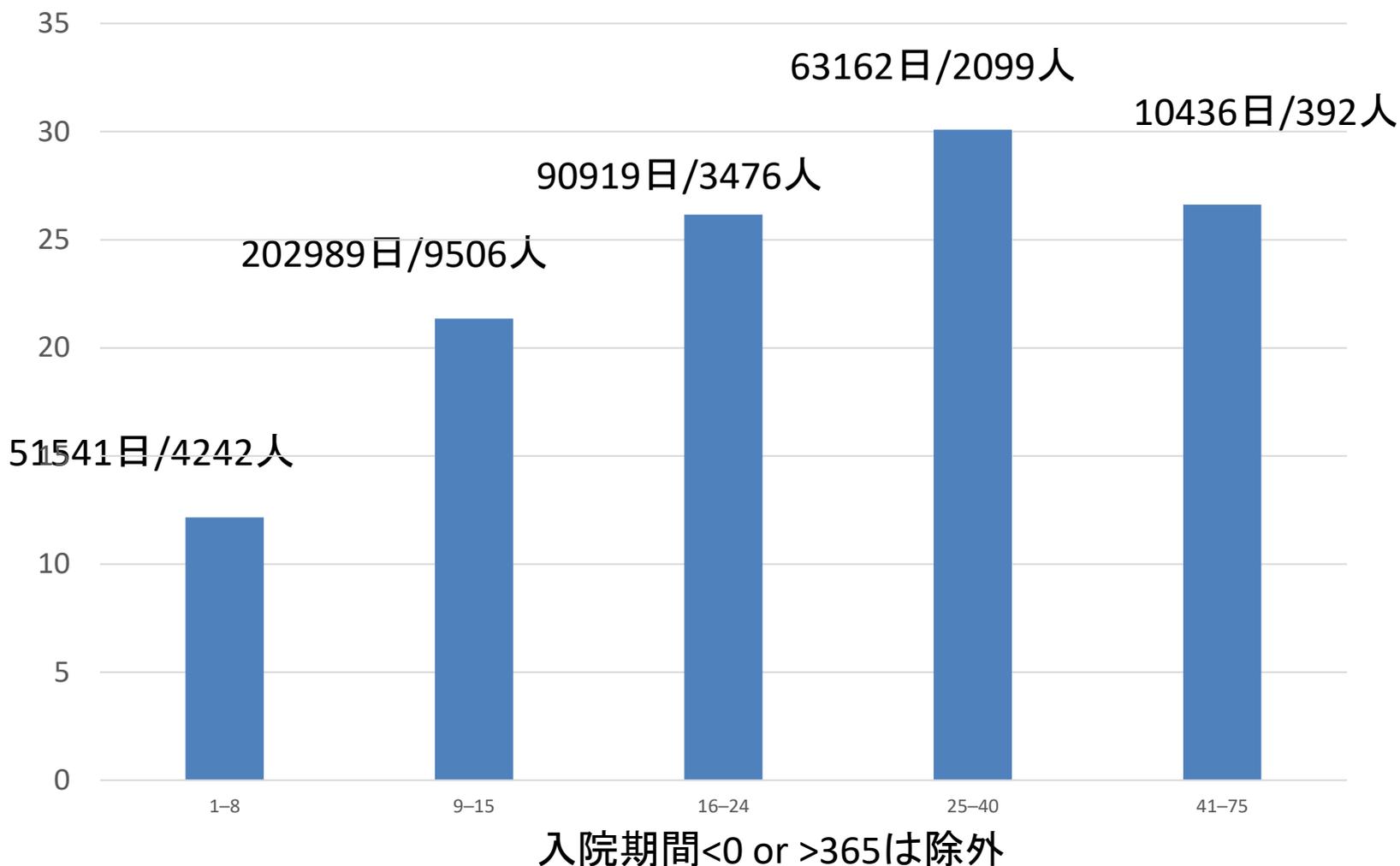


Figure
21

Probability of survival (Ps) カテゴリー別の症例数の割合

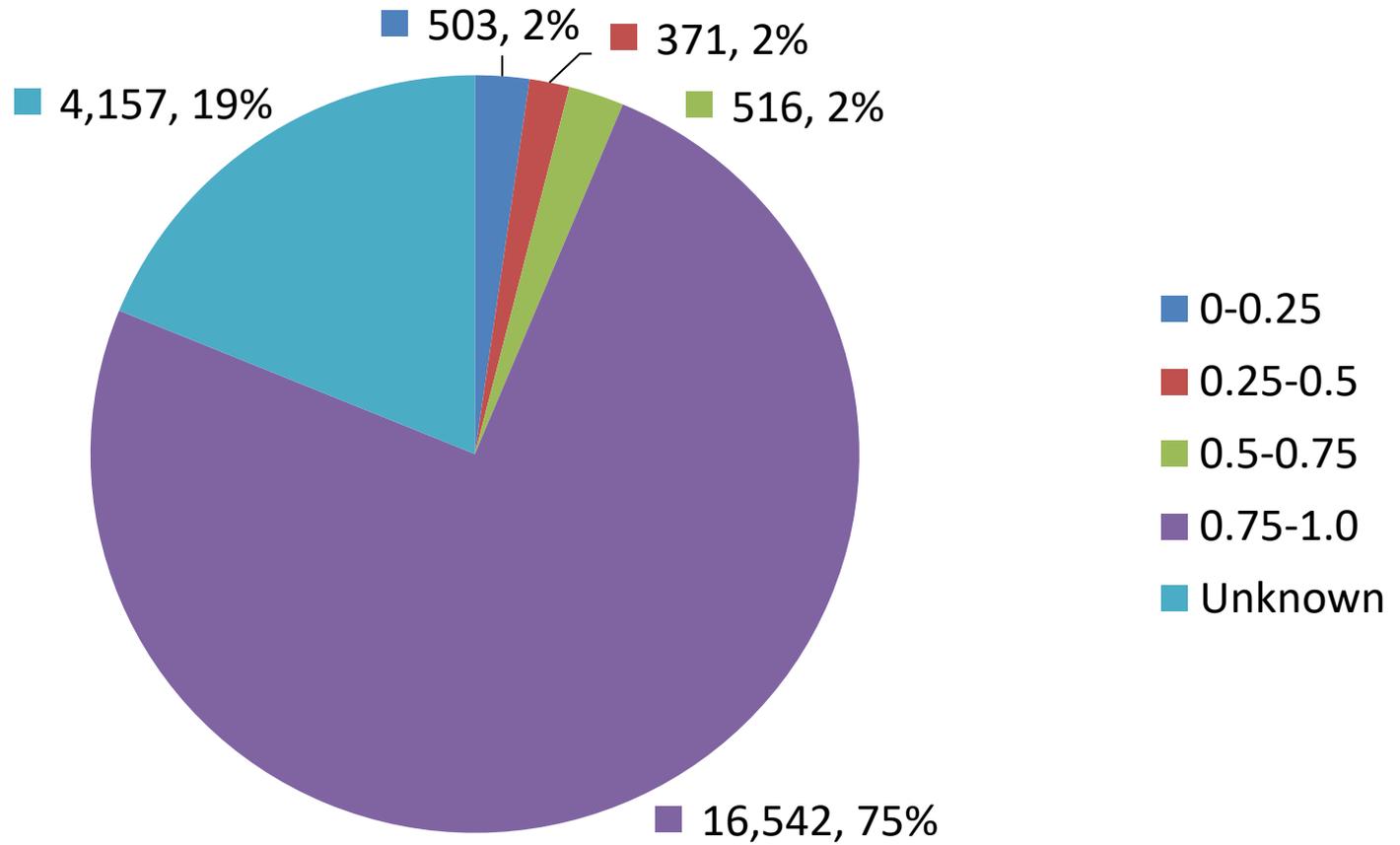


Figure
22A

Probability of survival (Ps)カテゴリー別の死亡数の割合

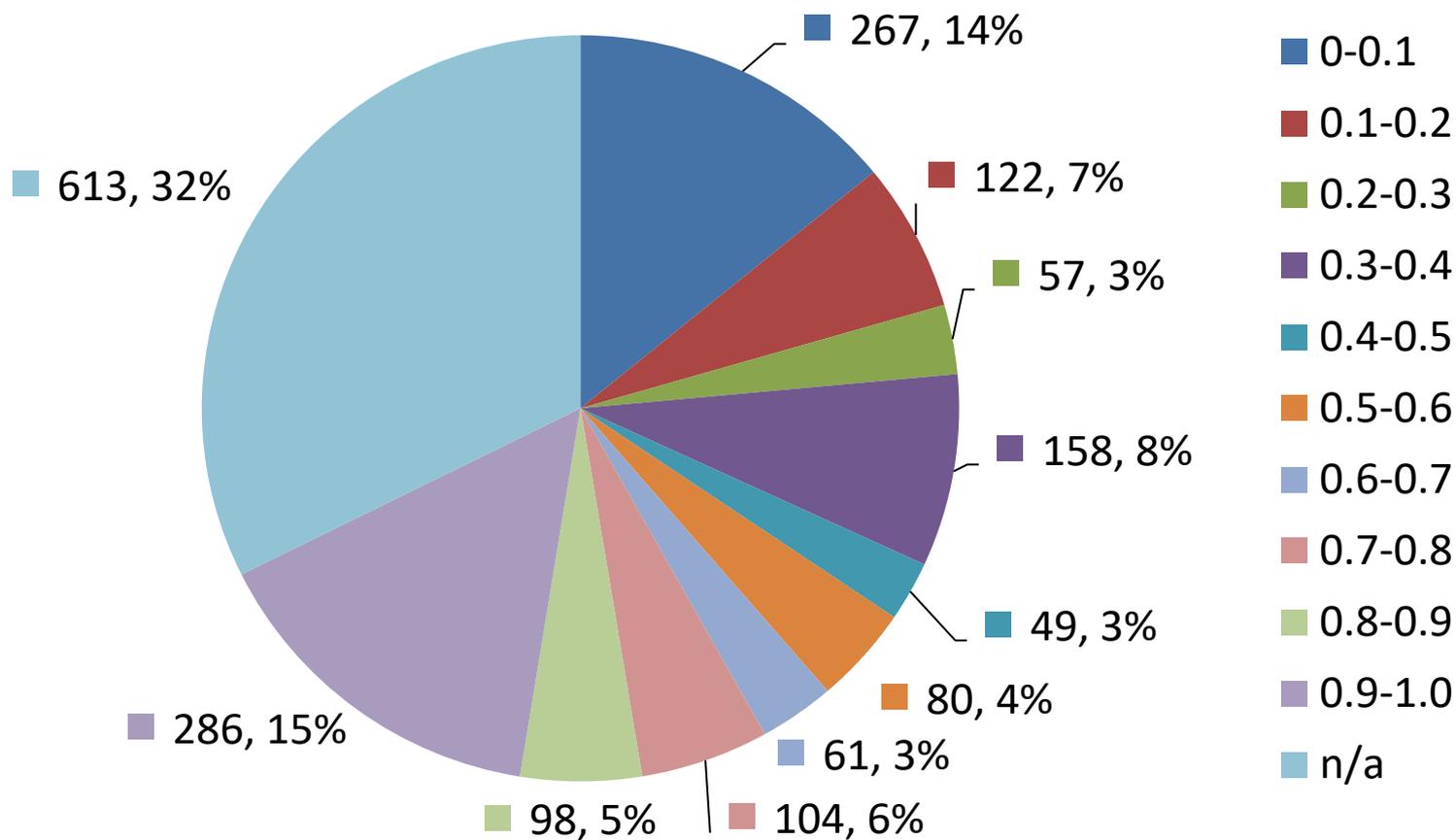


Figure
22B

各Probability of survival (Ps) カテゴリーの死亡率

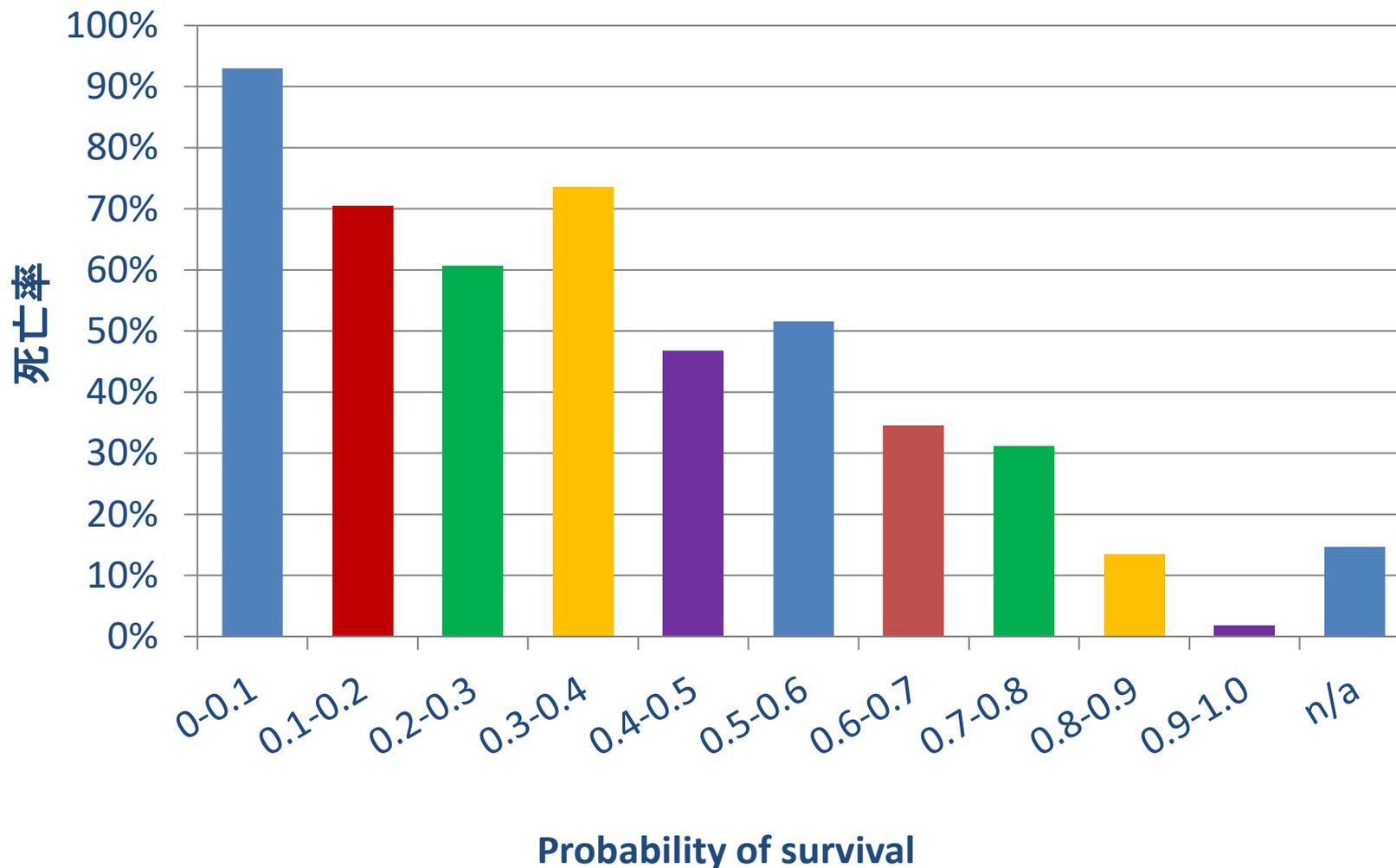


Figure
23

交通事故患者における種類別および年齢別の患者数

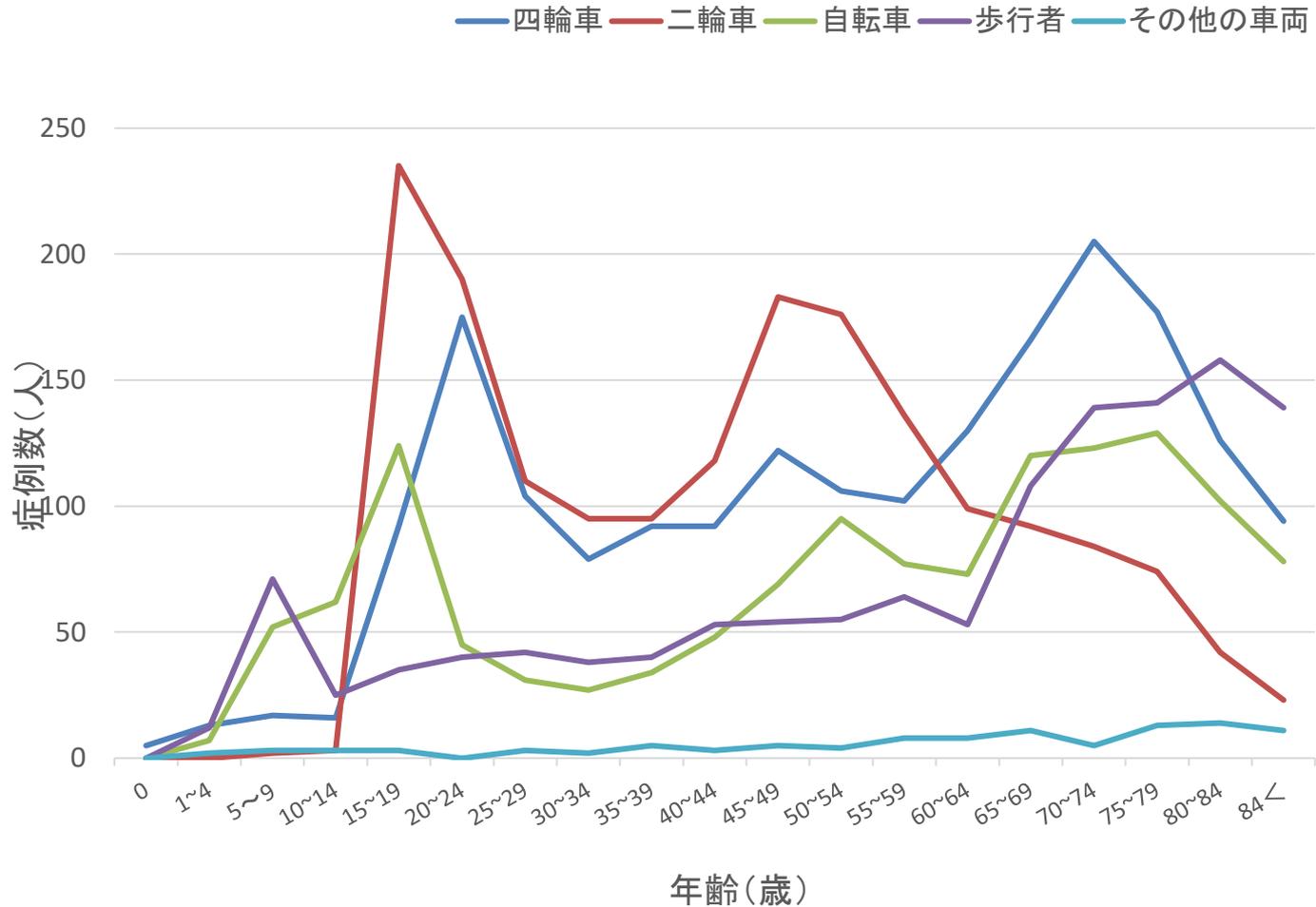


Figure
24

四輪事故症例数の運転者・乗客別年齢分布

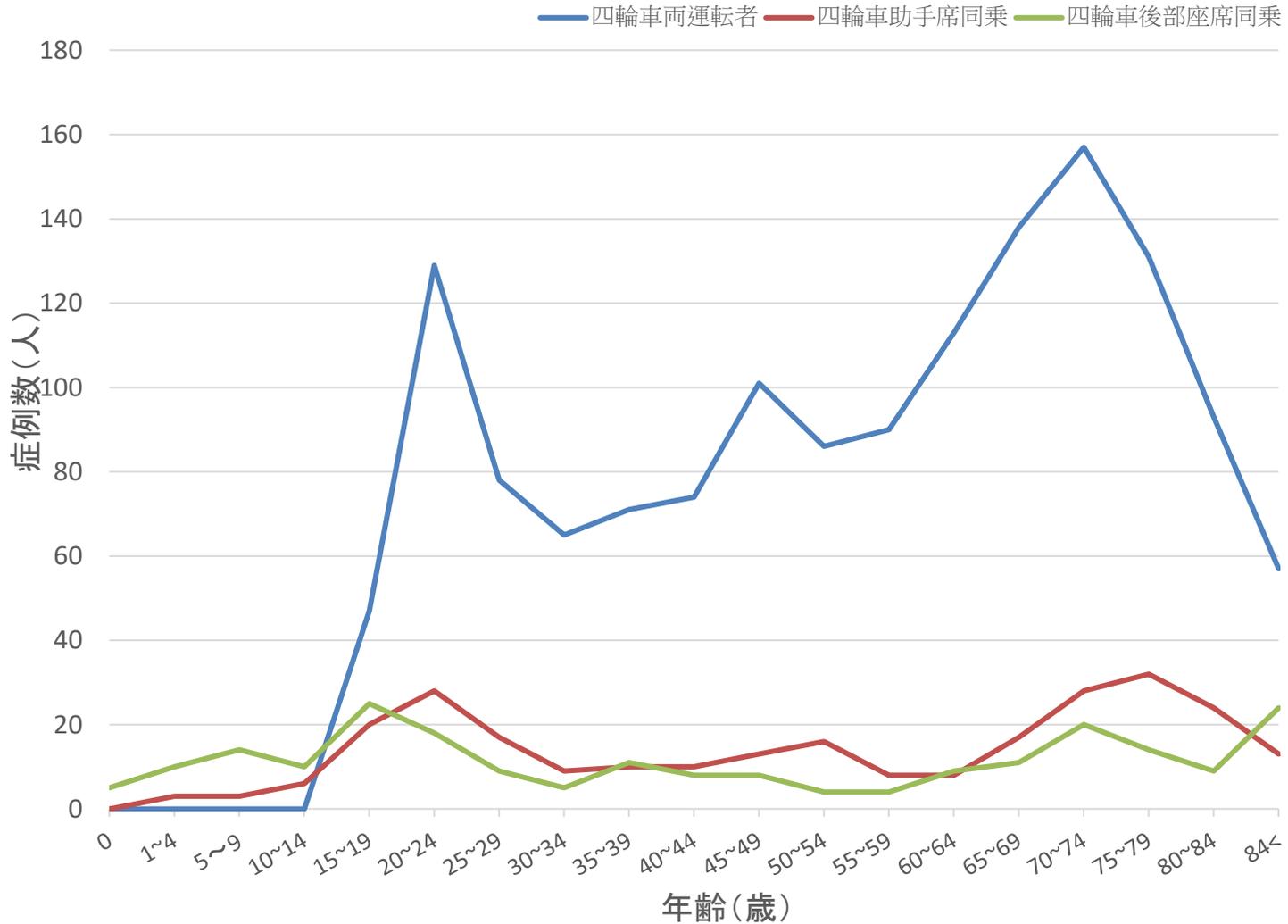


Figure
25

四輪事故(運転者)症例数の性別年齢分布

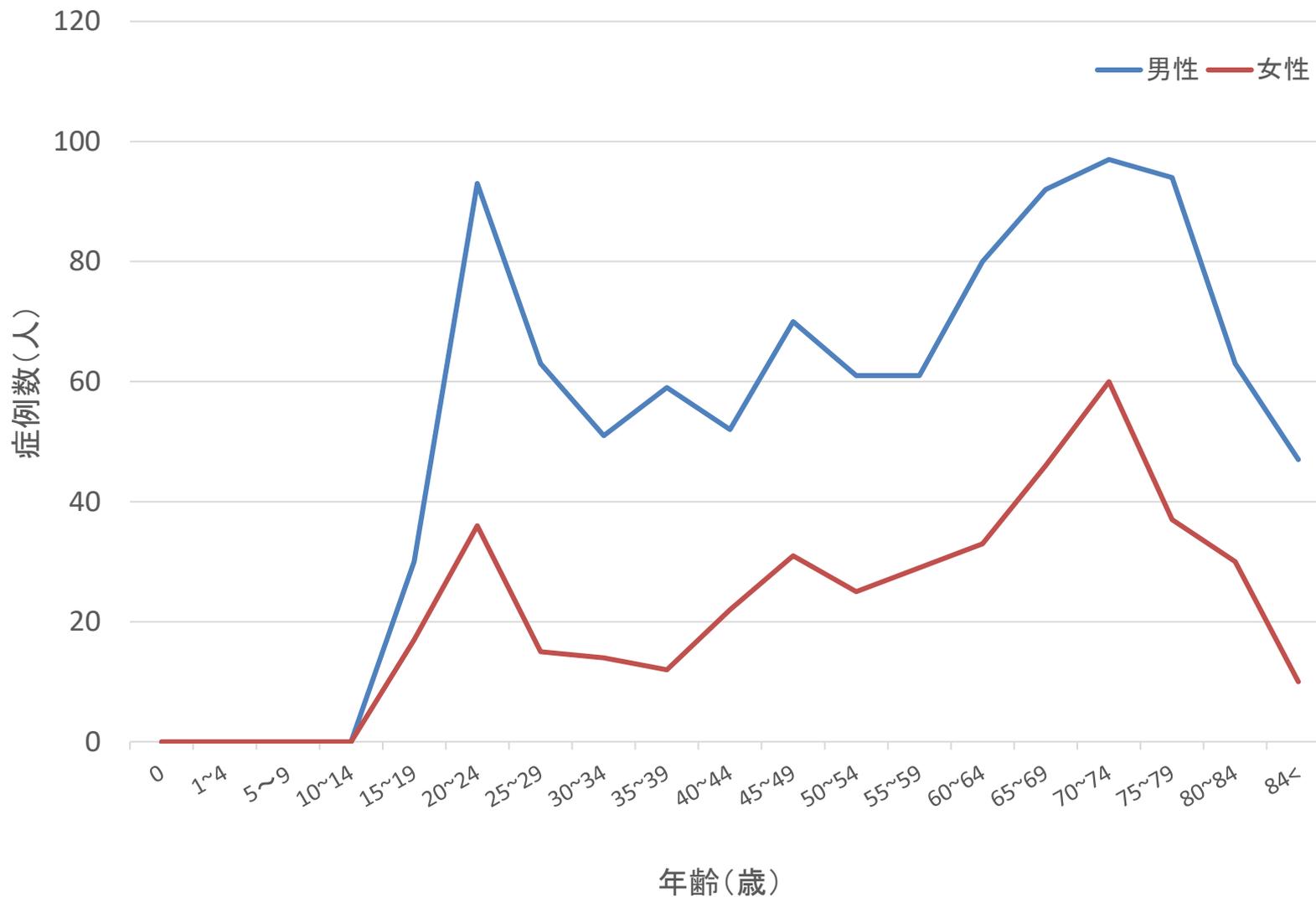


Figure
26

四輪事故(助手席)症例数の性別年齢分布

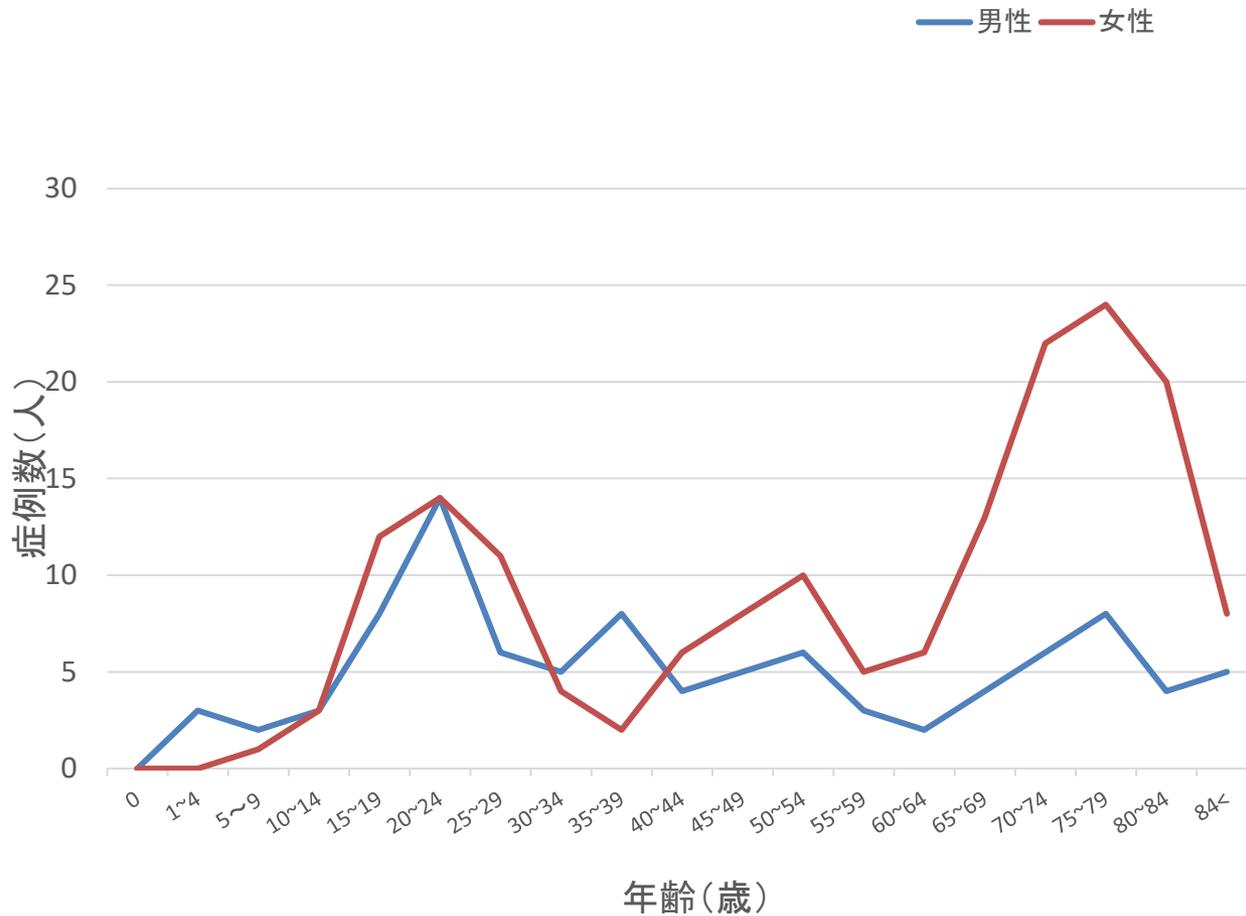


Figure
27

四輪車における運転手の年齢別死亡者数および死亡率

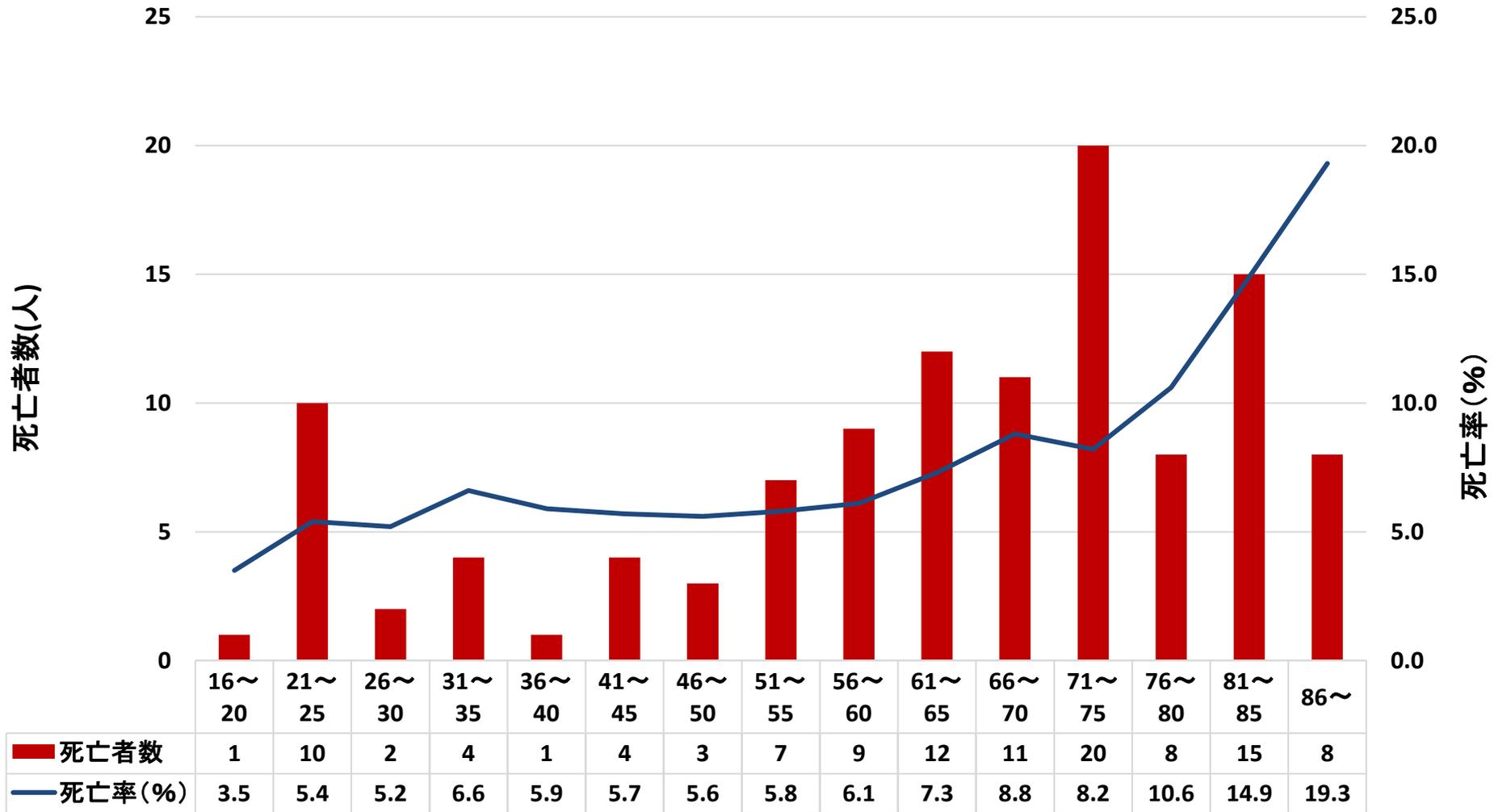


Figure
28

性別および年齢別運転死亡者数

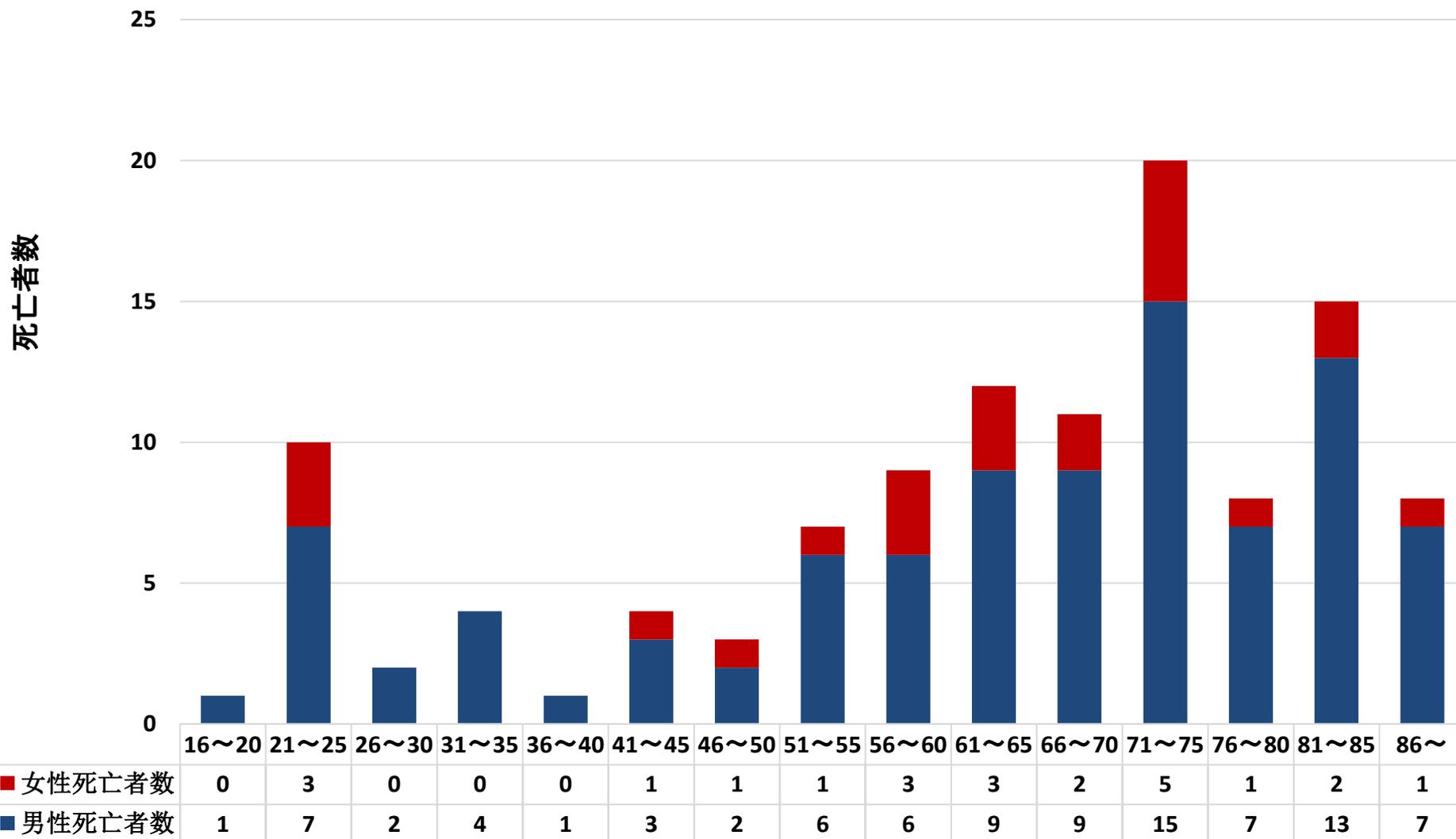


Figure
29

外傷原因別の登録患者比率

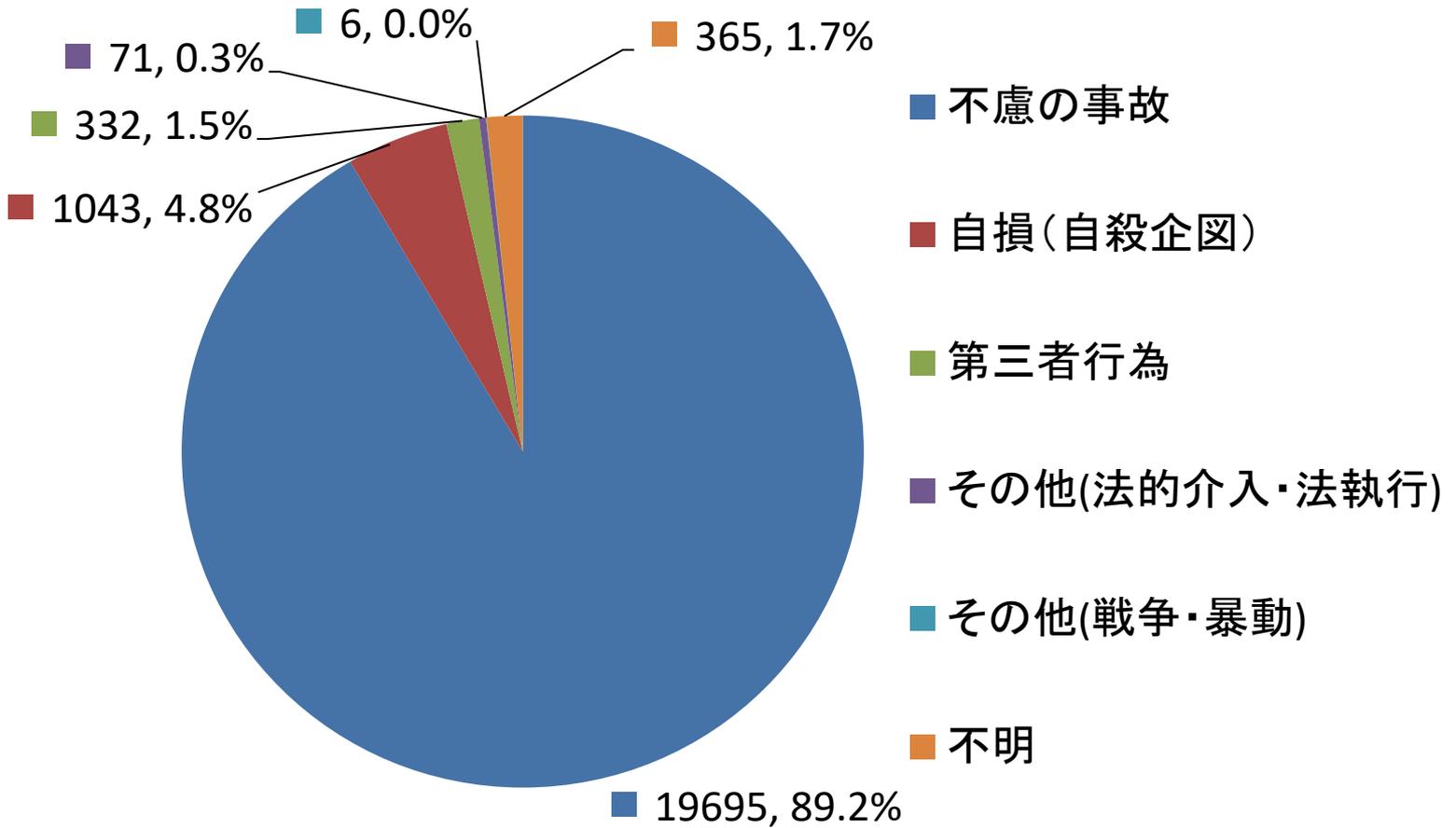


Figure
30

外傷原因別の死亡者比率

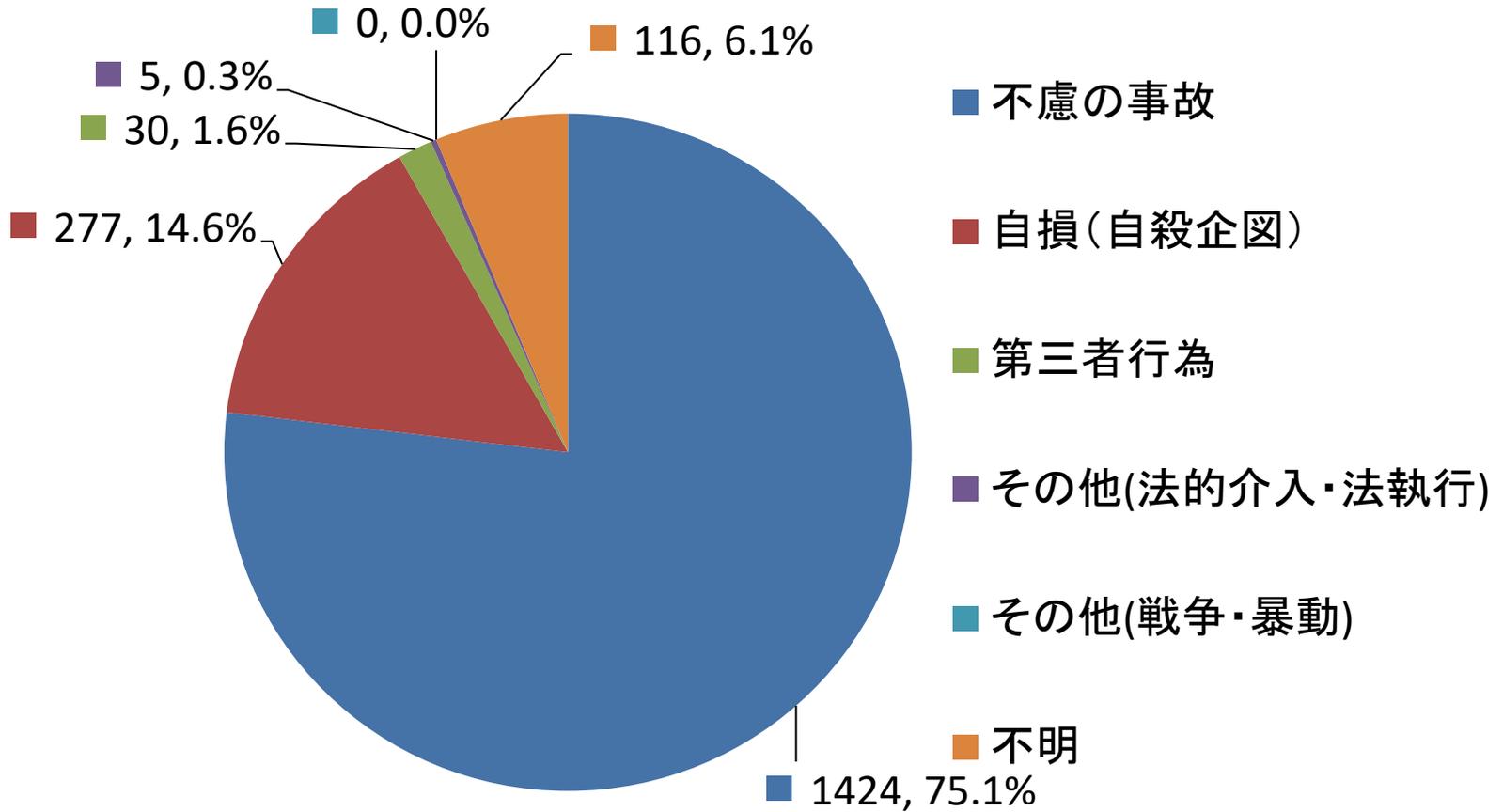


Figure
31

不慮の事故による外傷患者の性別比率

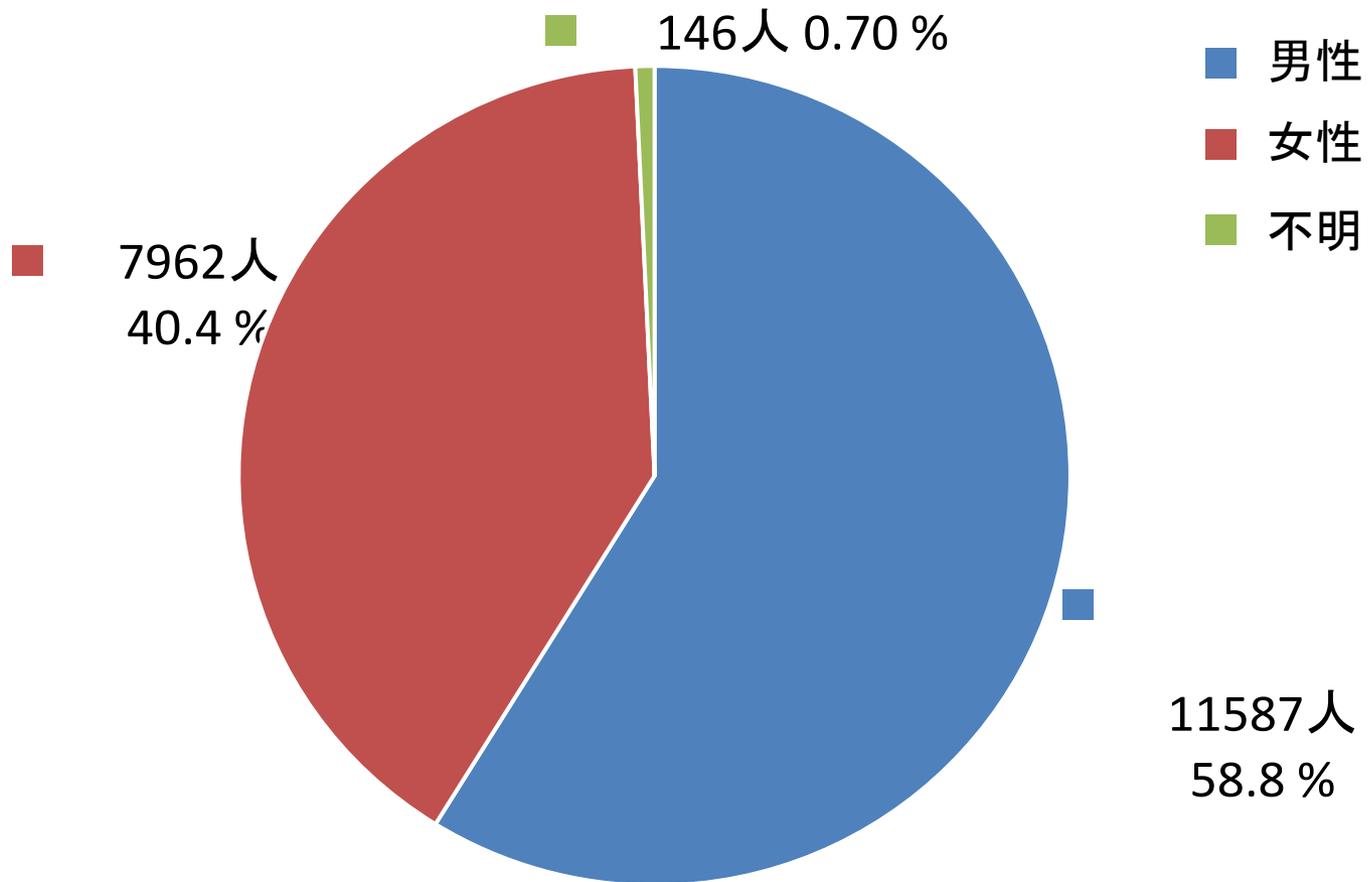


Figure
32

不慮の事故による外傷患者の性別年齢分布

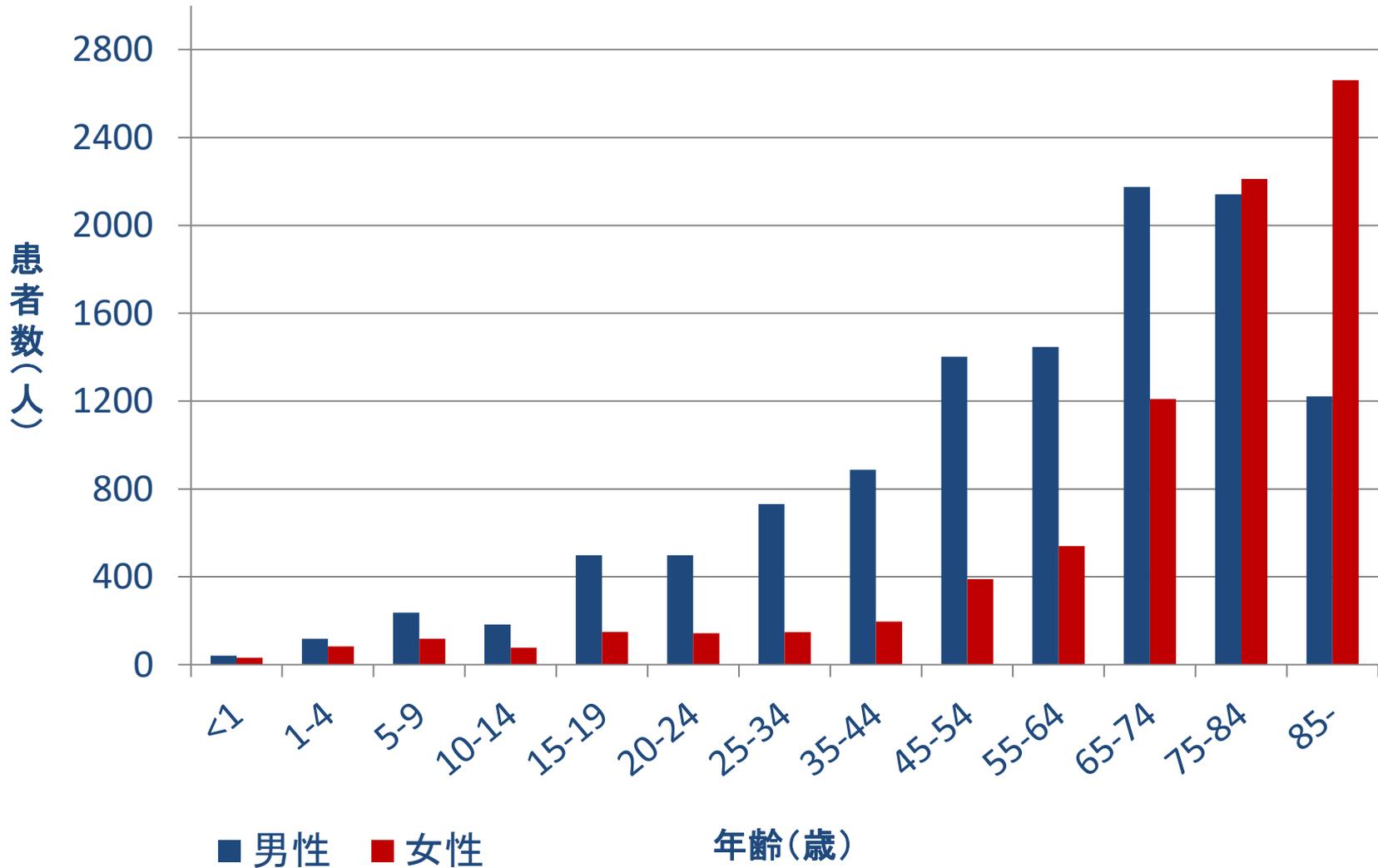


Table
32

不慮の事故による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	41	31	72
1- 4	117	83	200
5- 9	237	117	354
10-14	182	77	259
15-19	498	149	647
20-24	498	143	641
25-34	731	148	879
35-44	887	196	1083
45-54	1402	389	1791
55-64	1446	540	1986
65-74	2175	1210	3385
75-84	2142	2211	4353
85-	1222	2661	3883
不明	9	7	16
計	11587	7692	19549

Figure
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

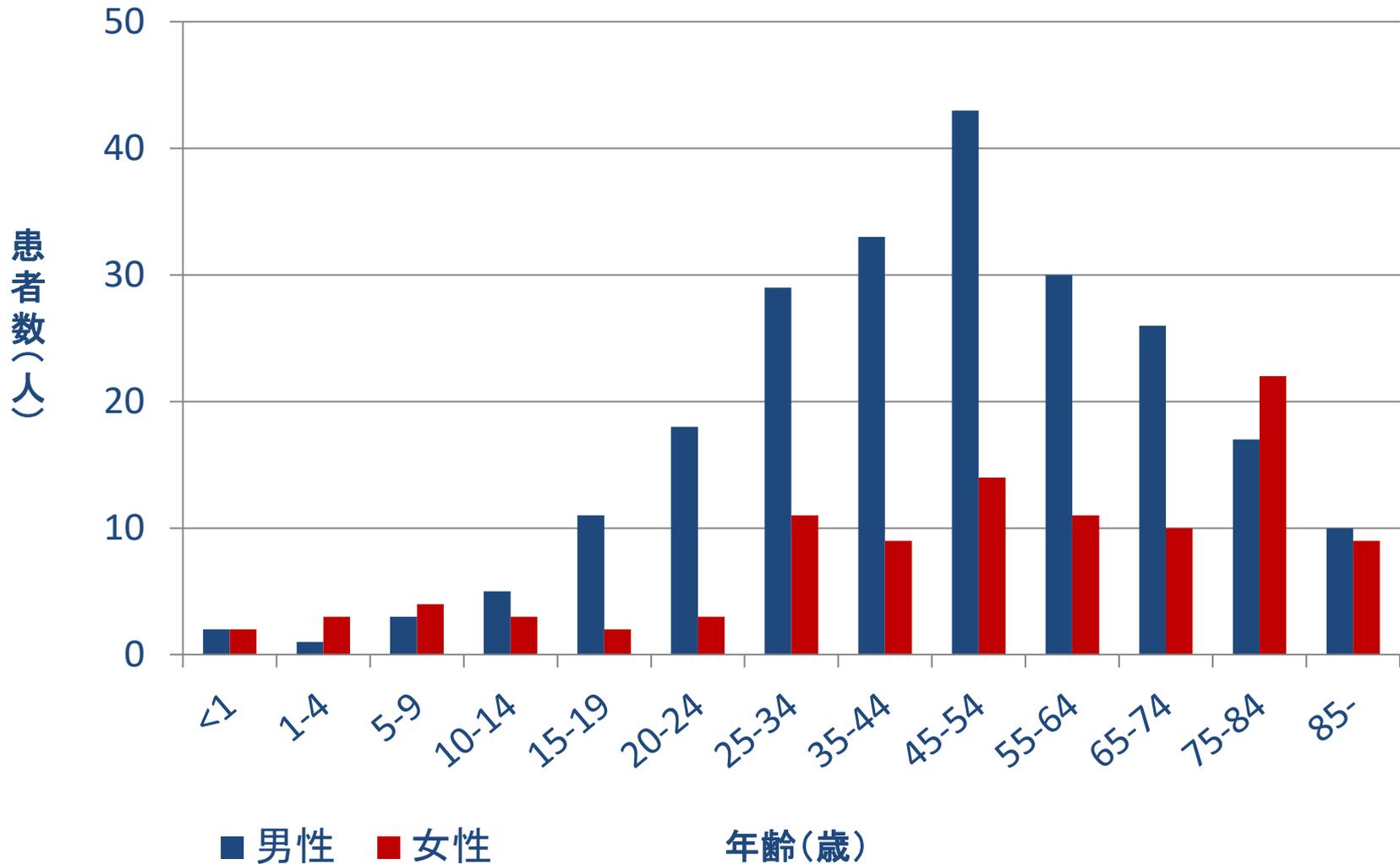


Table
33

傷害による外傷患者の性別年齢分布

年齢	男性	女性	計
< 1	2	2	4
1- 4	1	3	4
5- 9	3	4	7
10-14	5	3	8
15-19	11	2	13
20-24	18	3	21
25-34	29	11	40
35-44	33	9	42
45-54	43	14	57
55-64	30	11	41
65-74	26	10	36
75-84	17	22	39
85-	10	9	19
計	228	103	331

Figure
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

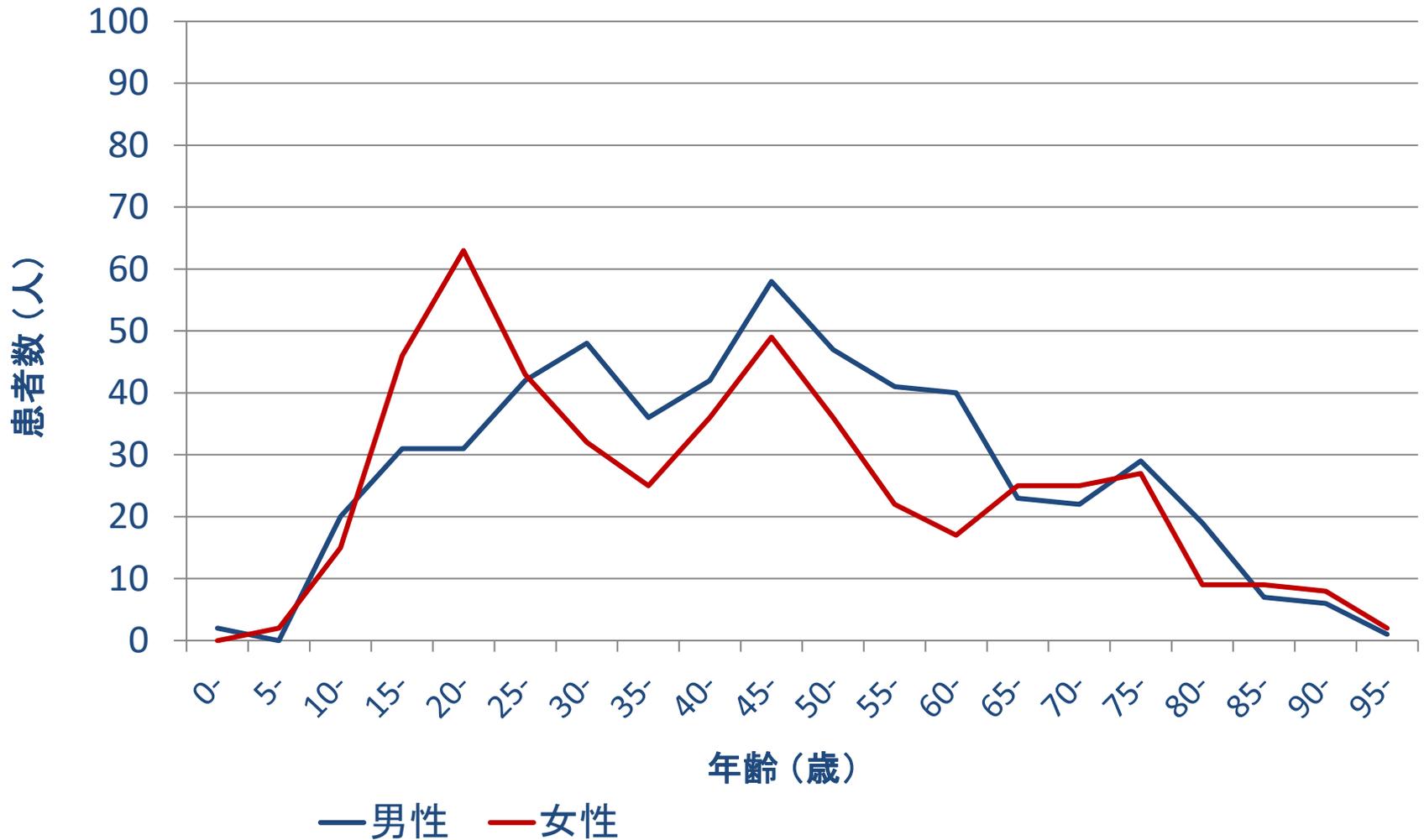


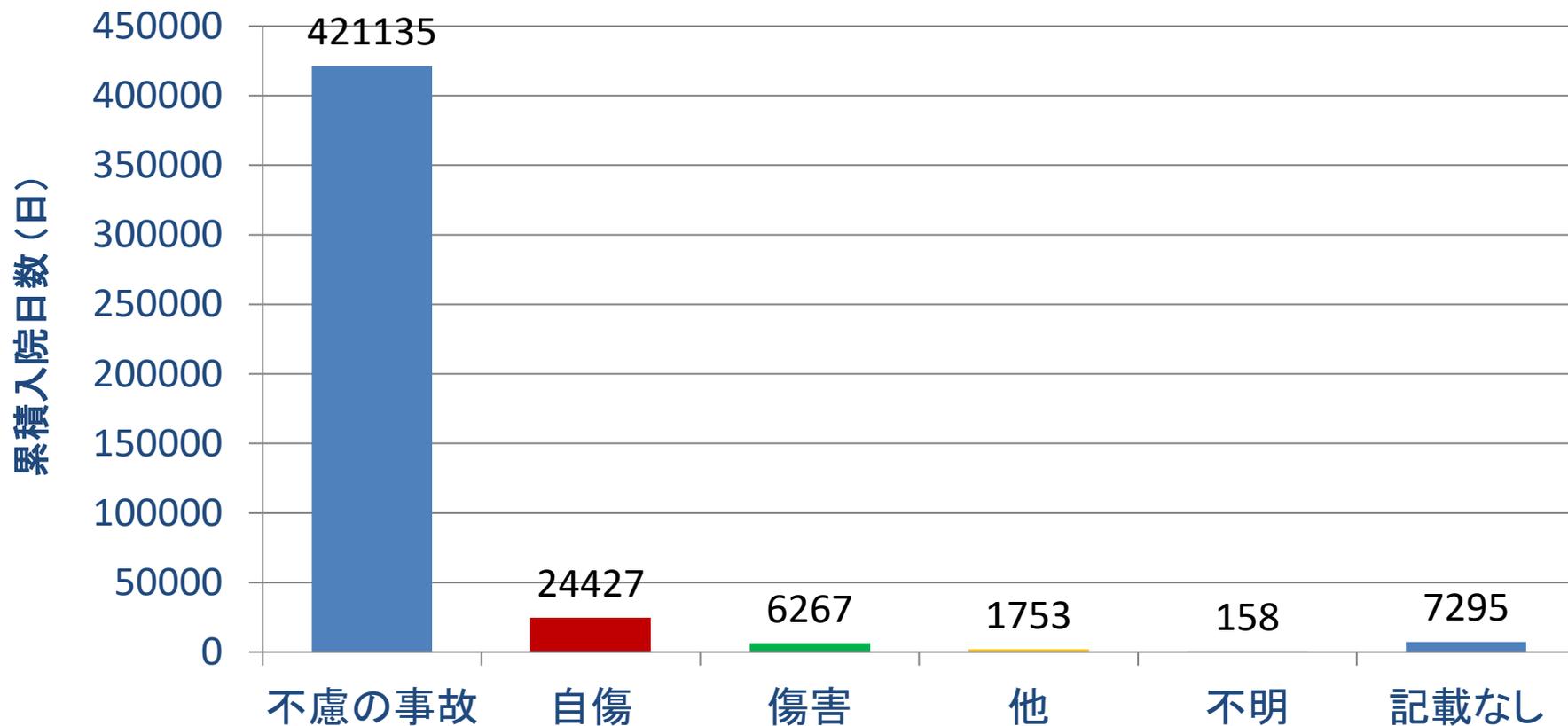
Table
34

自傷による外傷患者の性別年齢分布

Age Sex	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-	Unkn wn	Total
Female	0	2	15	46	63	43	32	25	36	49	36	22	17	25	25	27	9	9	8	2	6	491
Male	2	0	20	31	31	42	48	36	42	58	47	41	40	23	22	29	19	7	6	1	1	546
Total	37	29	168	505	770	808	684	806	841	825	707	591	530	592	512	396	319	176	69	17	42	1037

Figure
35A

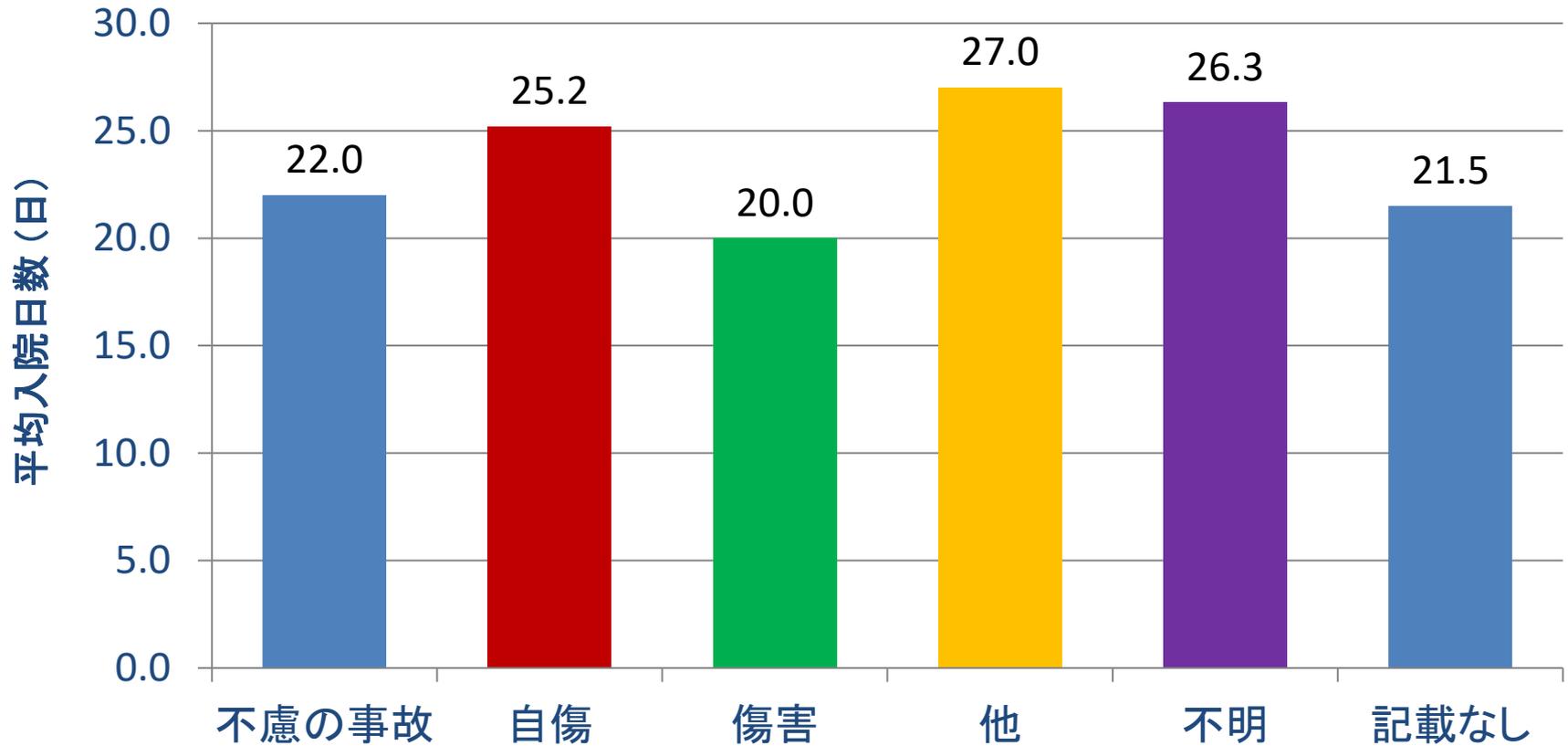
外傷原因別の累積入院日数



「記載なし」とは、外傷原因の記載がないものを指す。
不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
35B

外傷原因別の平均入院日数



不慮の事故には、労災も含まれる。

Figure
36

各部位損傷症例数

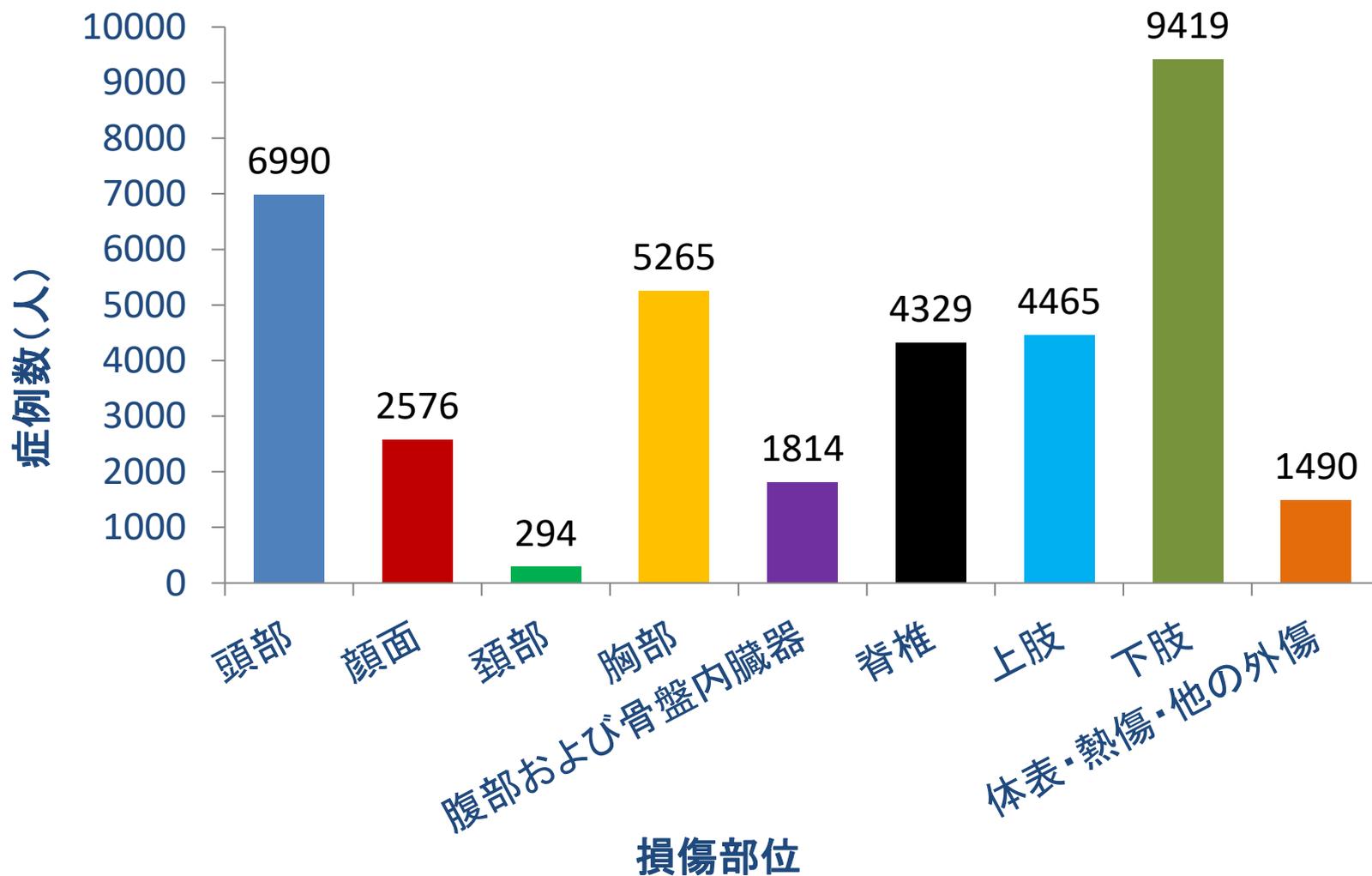


Figure
37A

頭部損傷とmaxAIS重症度

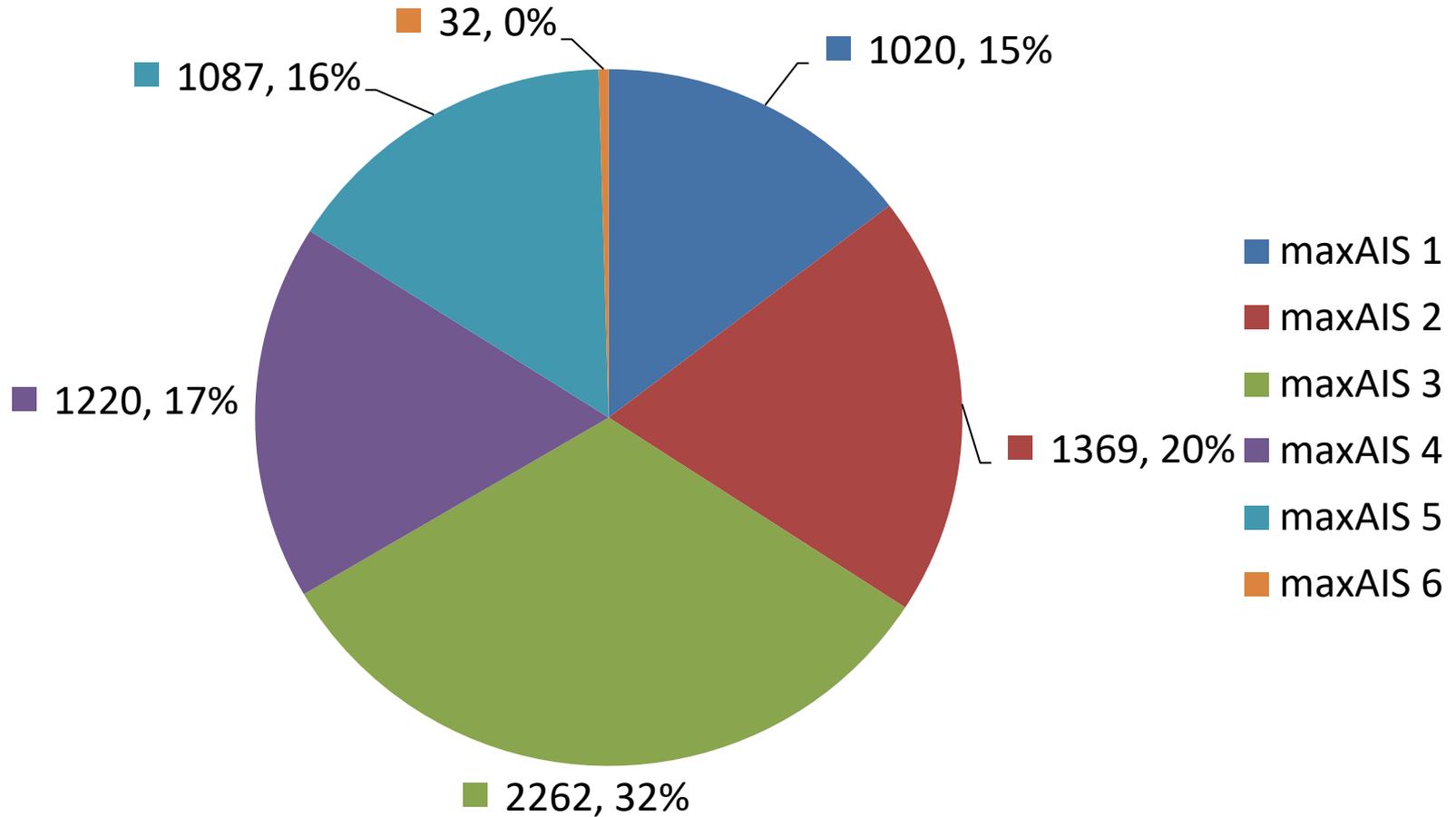


Figure
37B

顔面損傷とmaxAIS重症度

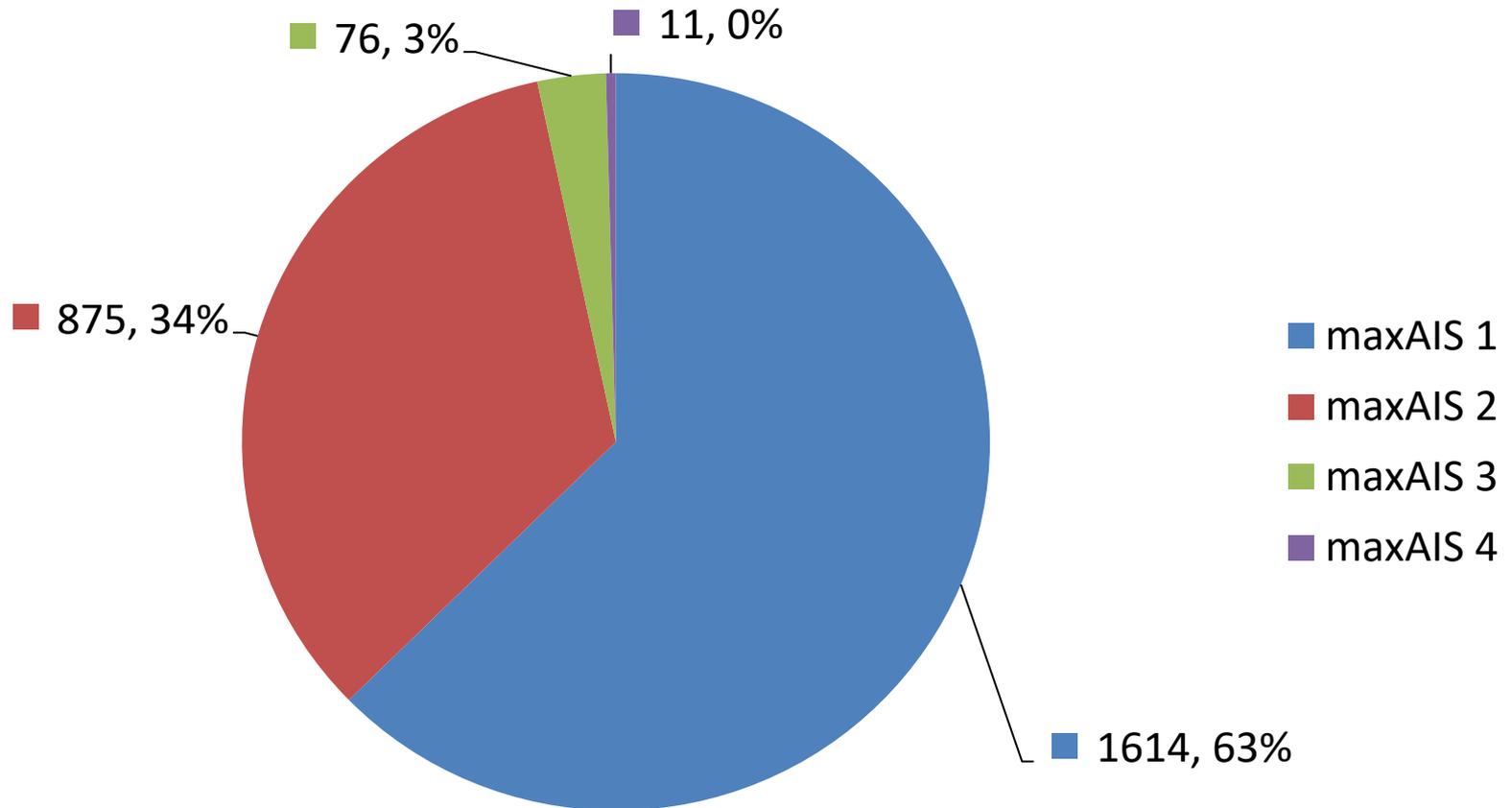


Figure
37C

頸部損傷とmaxAIS重症度

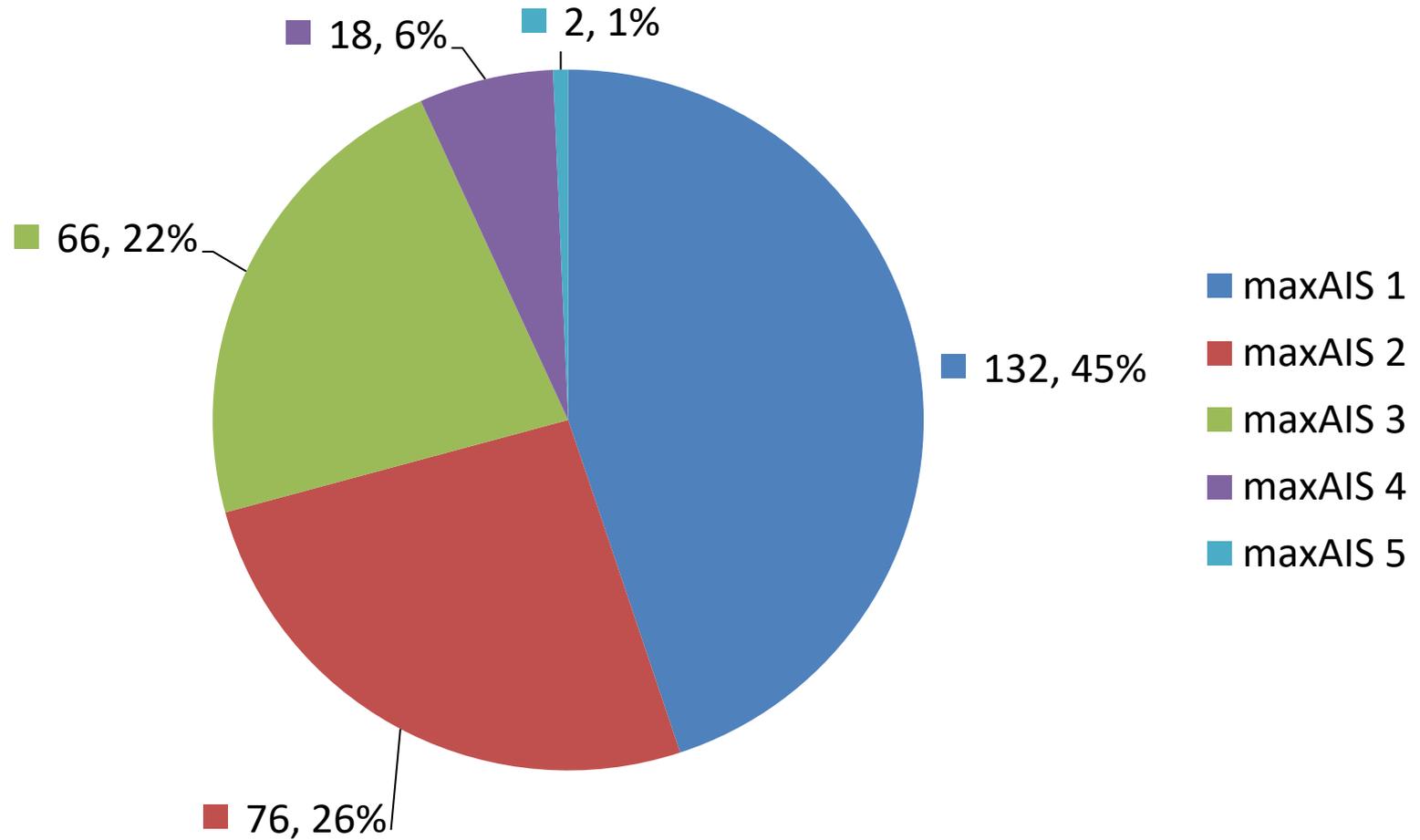


Figure
37D

胸部損傷とmaxAIS重症度

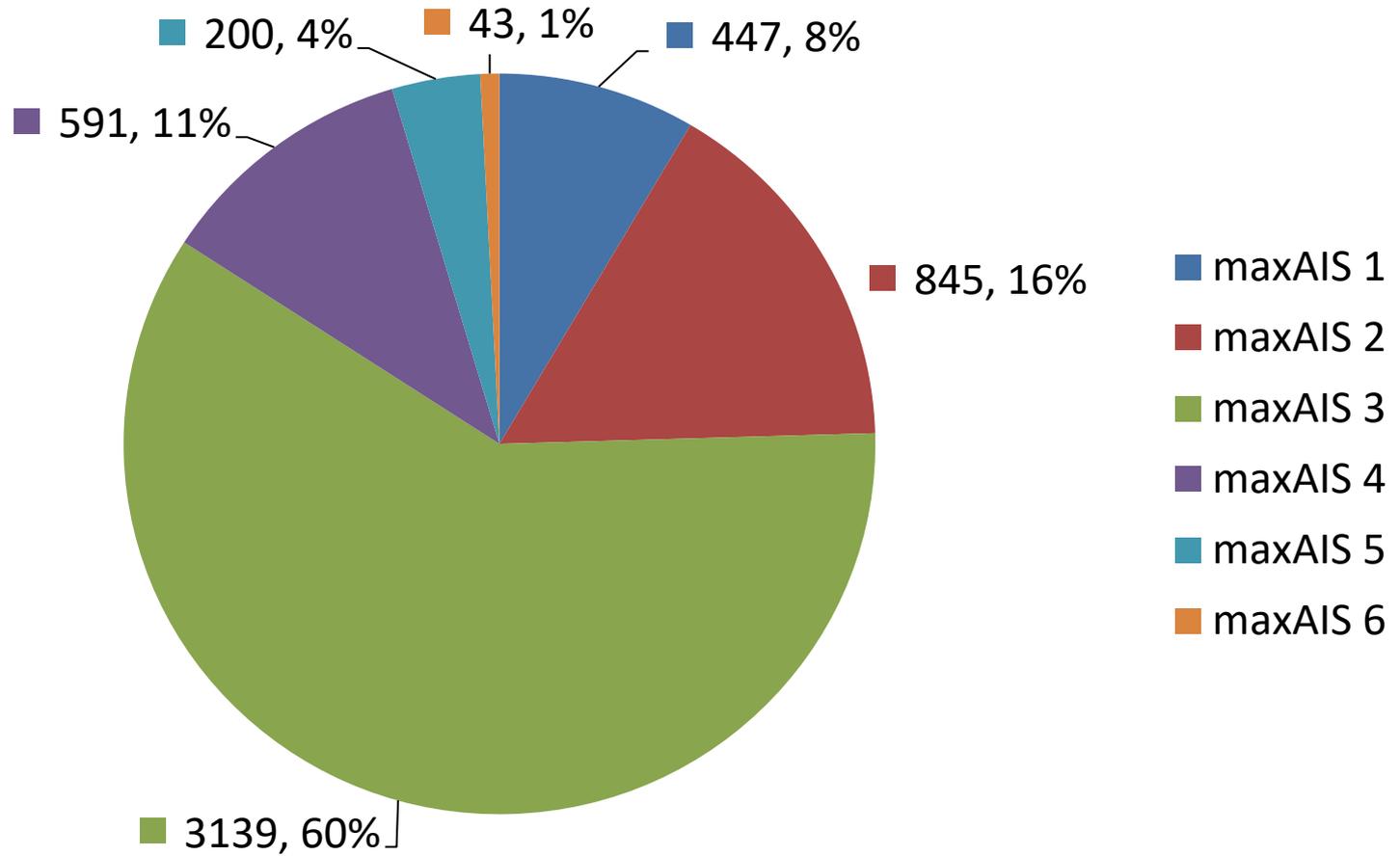


Figure
37E

腹部および骨盤内臓器損傷とmaxAIS重症度

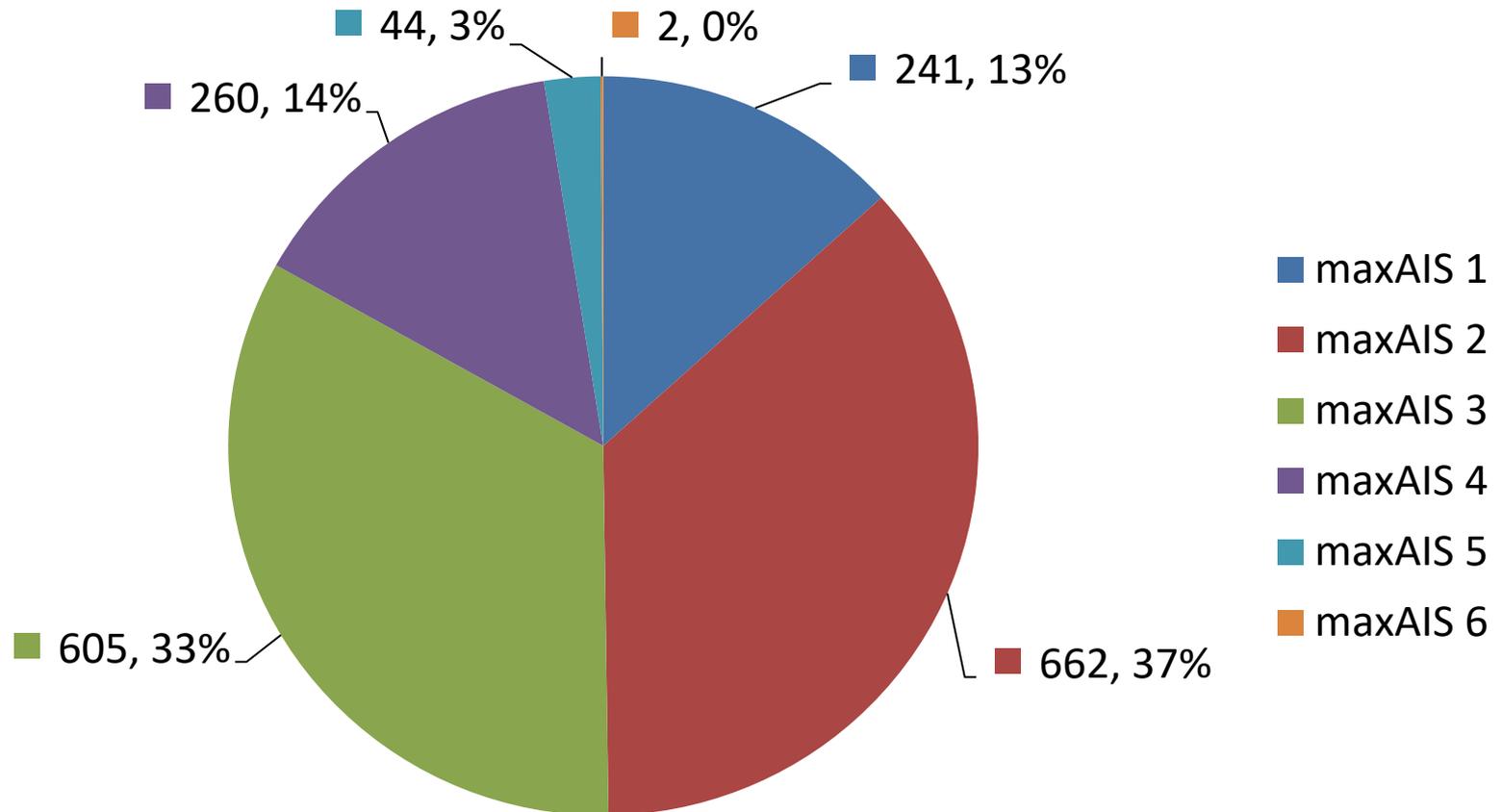


Figure
37F

脊椎損傷と maxAIS 重症度

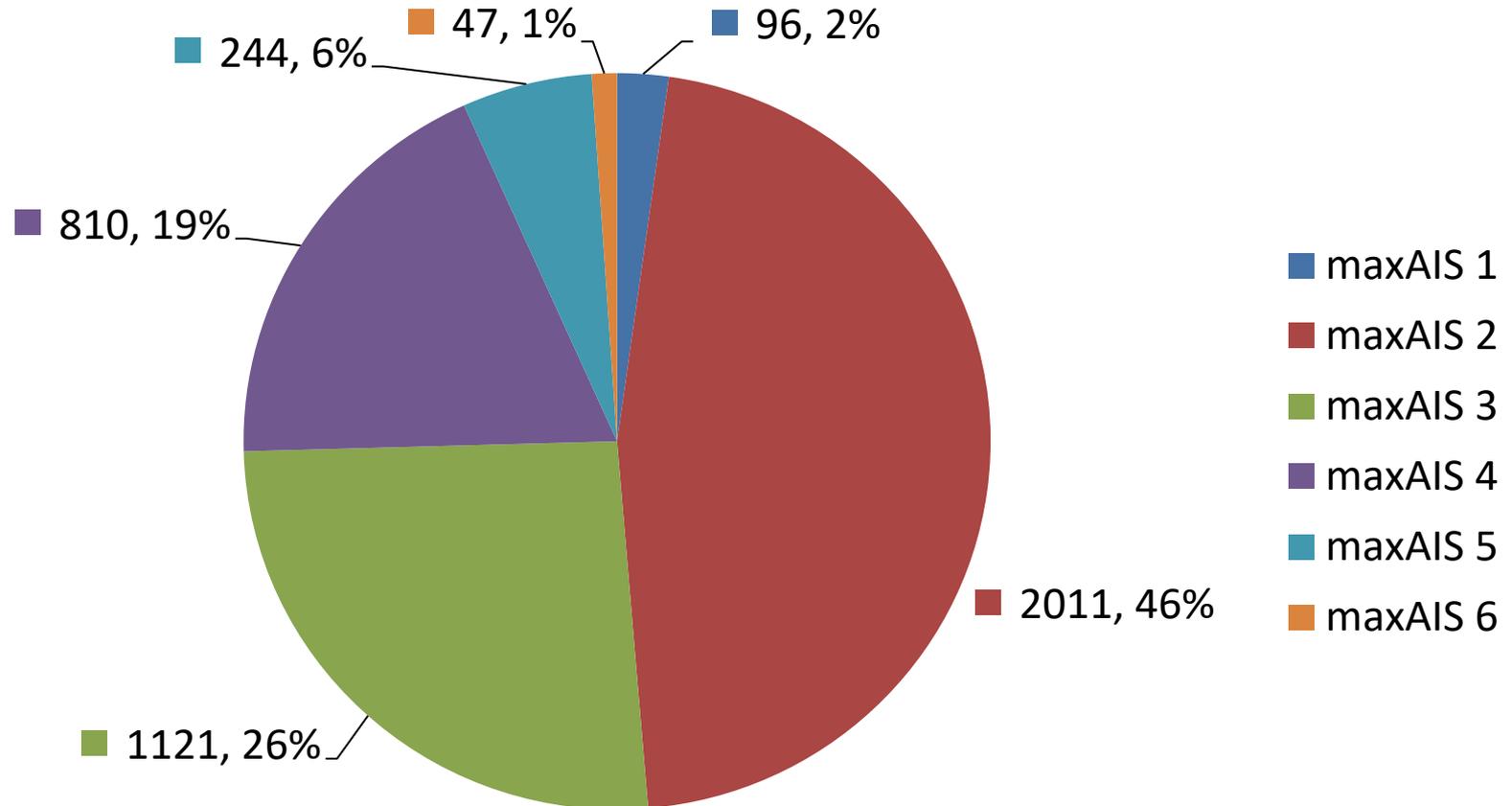


Figure
37G

上肢損傷と maxAIS重症度

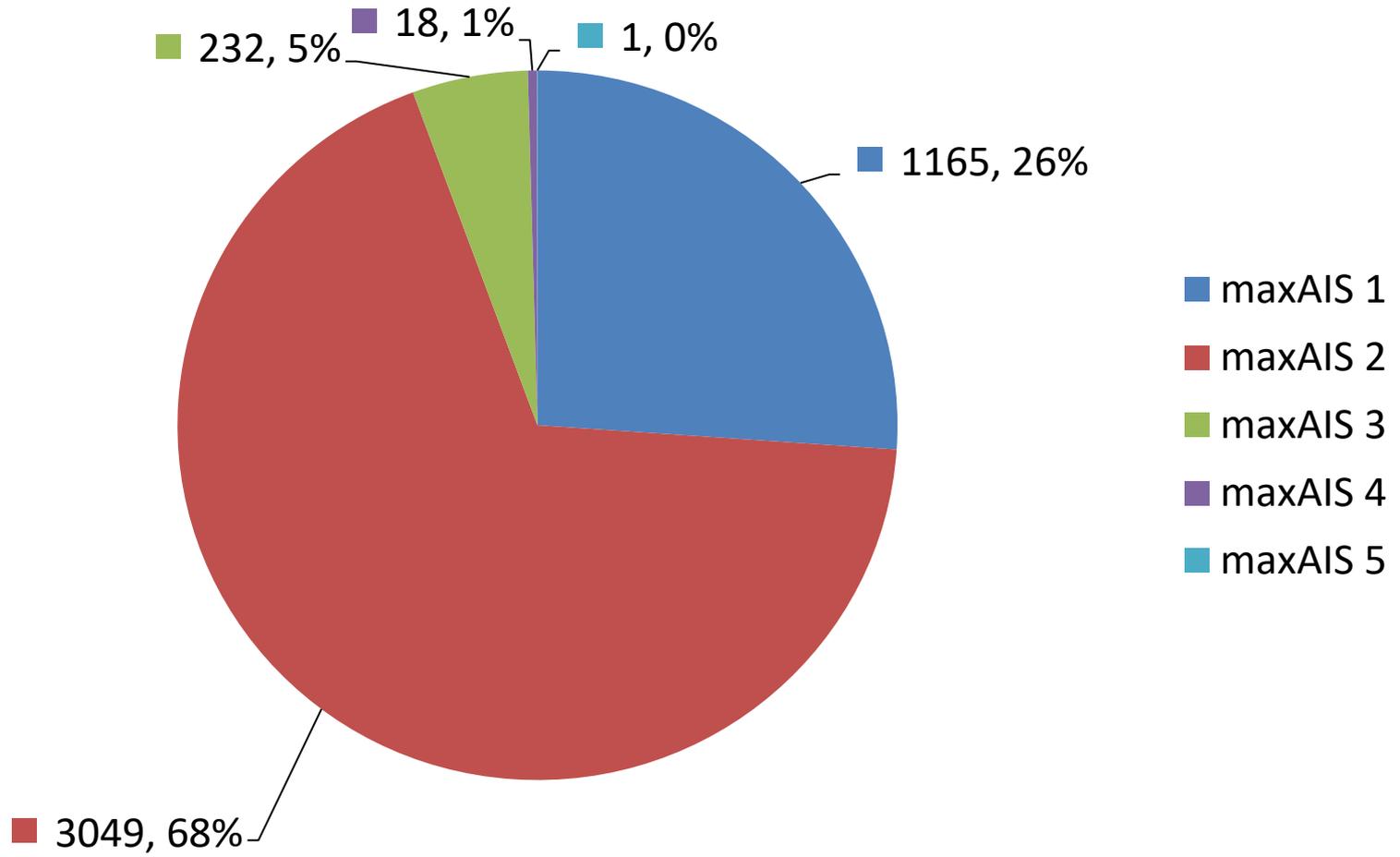


Figure
37H

下肢損傷と maxAIS重症度

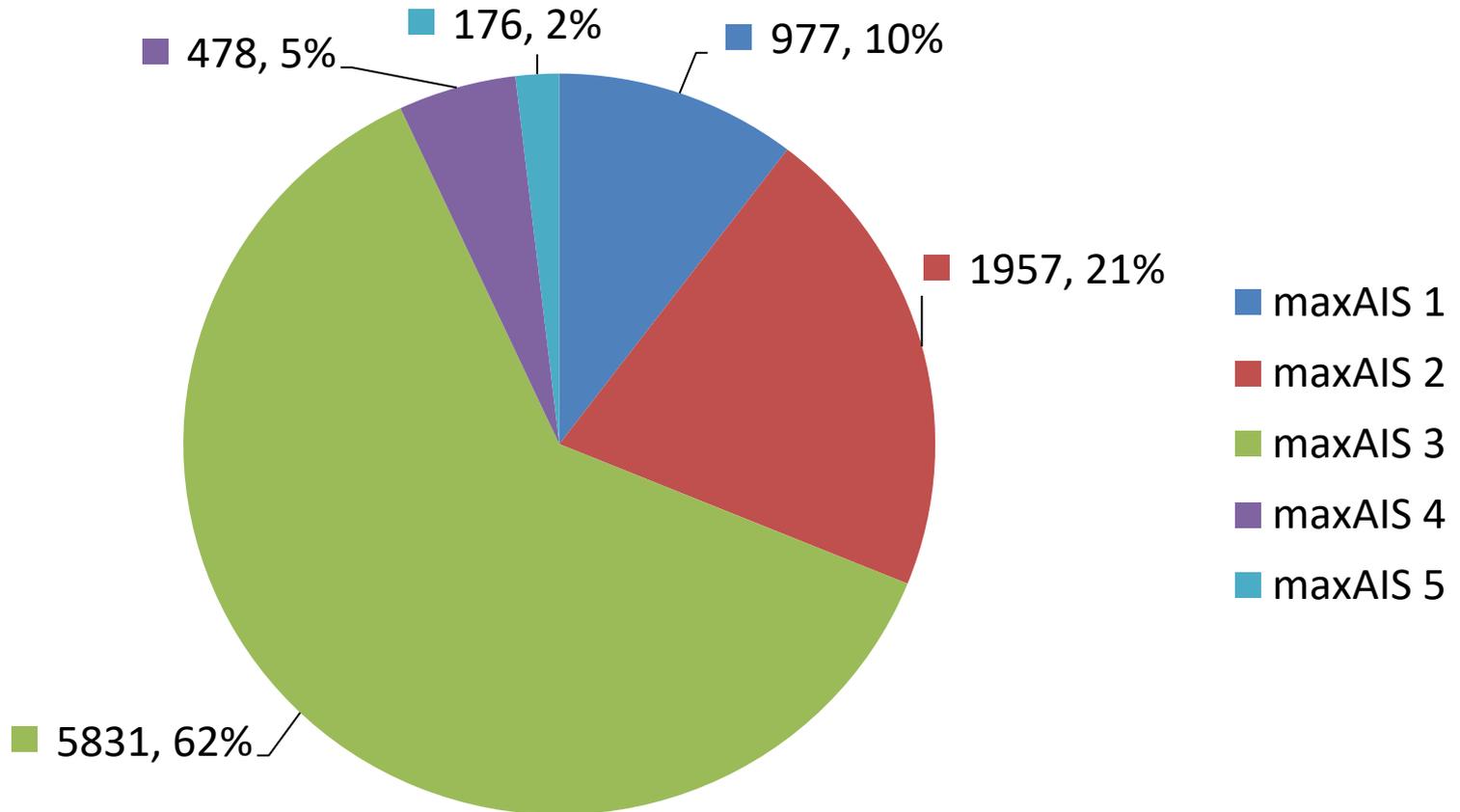


Figure
37I

体表・熱傷・他の外傷とmaxAIS重症度

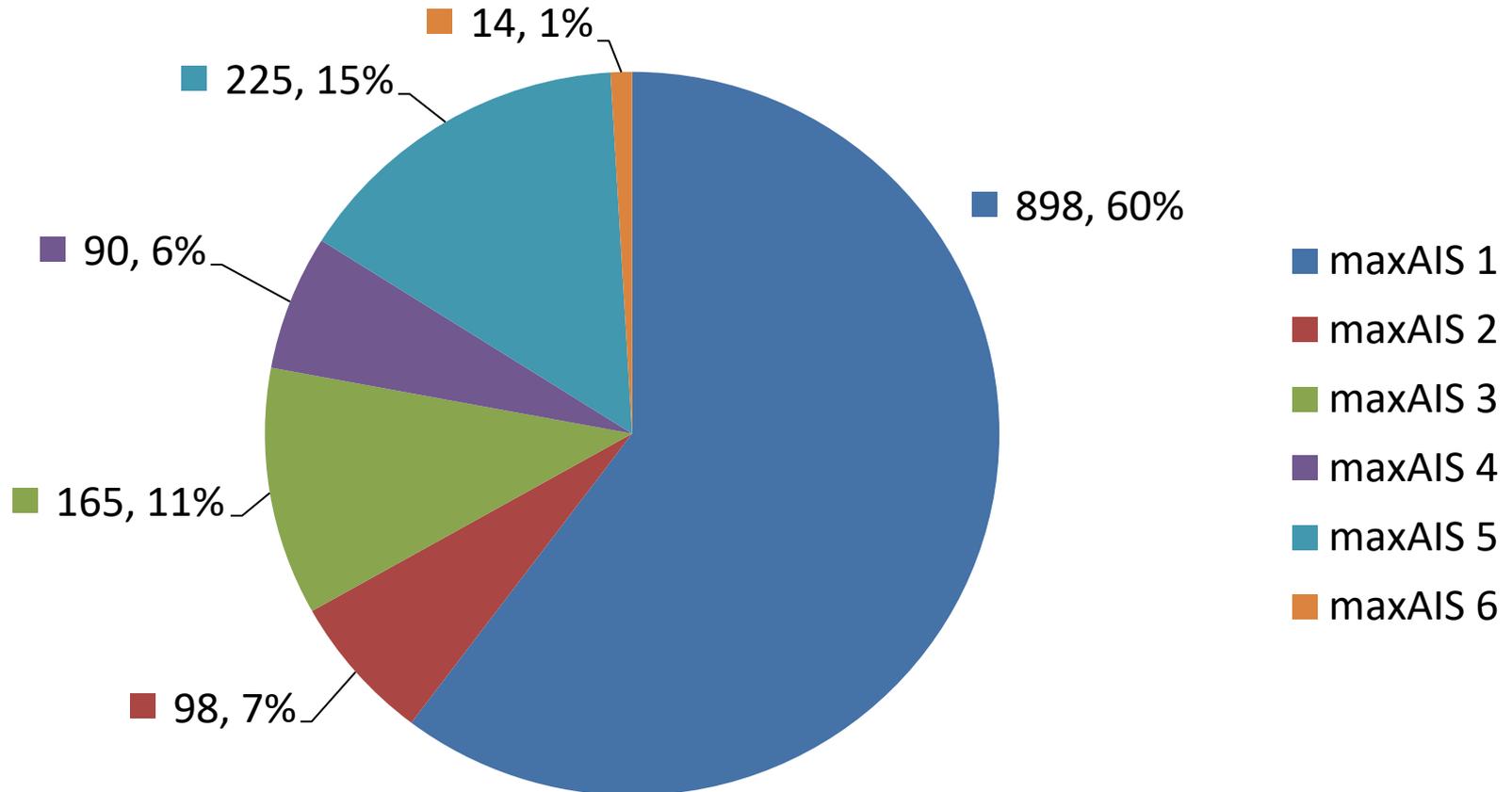
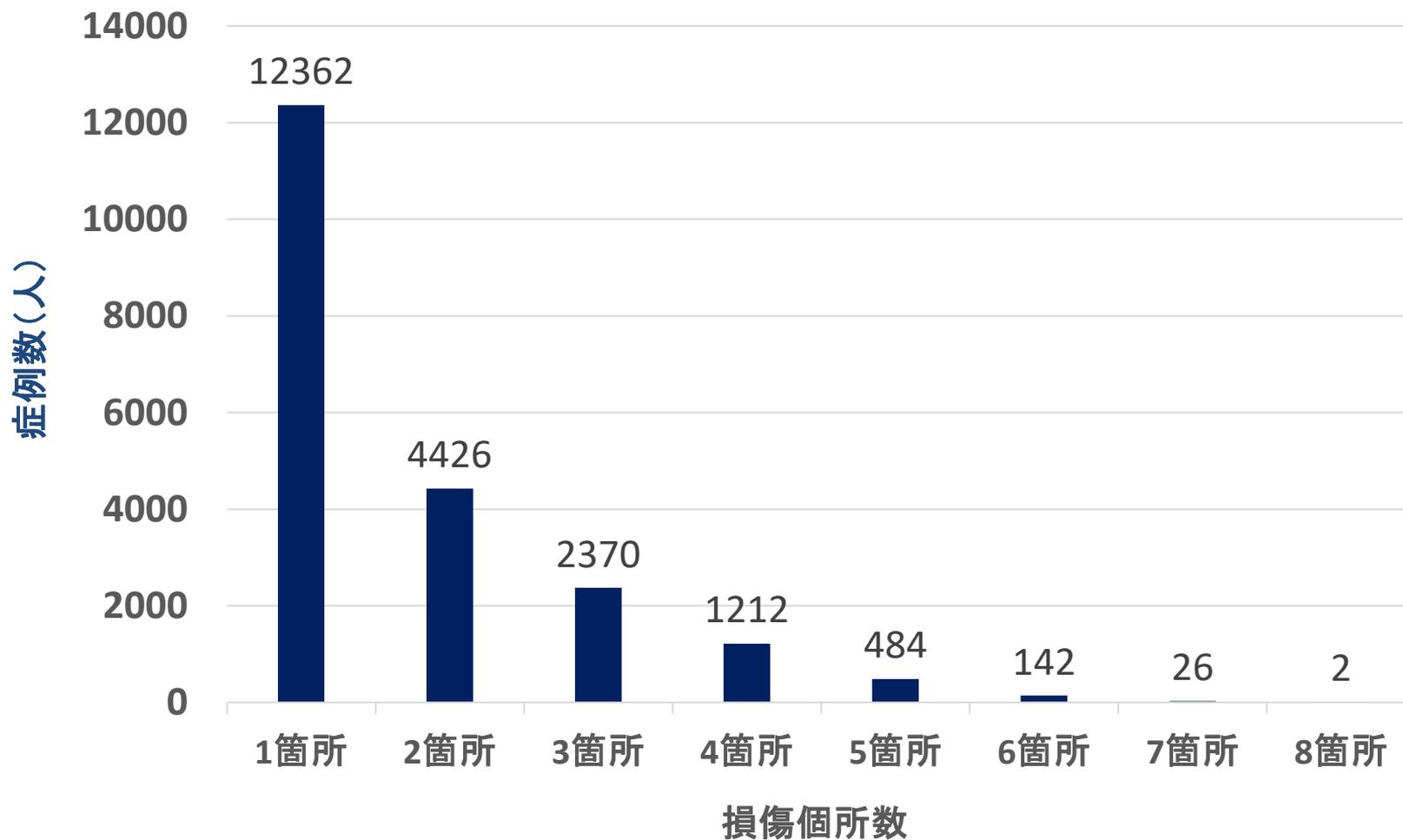


Figure
38

AIS 損傷区分に基づく損傷箇所数と症例数



日本外傷データベース報告 2020
(2019.1-2019.12)
JAPAN TRAUMA DATA BANK
REPORT 2020 (2019.1-2019.12)

2021年1月



日本救急医学会 診療の質評価指標に関する委員会

担当理事 坂本哲也

委員長 森村尚登

日本外傷学会 ト라우マレジストリー検討委員会

担当理事 齋藤大蔵

委員長 三宅康史

タスクフォース 阿部智一

織田 順

木村昭夫

阪本雄一郎

白石 淳

田中啓司

東平日出夫

中原慎二

林 宗貴

増野智彦

三宅康史

山口芳裕

清水敬樹

青木誠